

CHleru

上智大学様
CaLabo EX v7.1 簡易マニュアル
(教員様向け)

チエル 株式会社

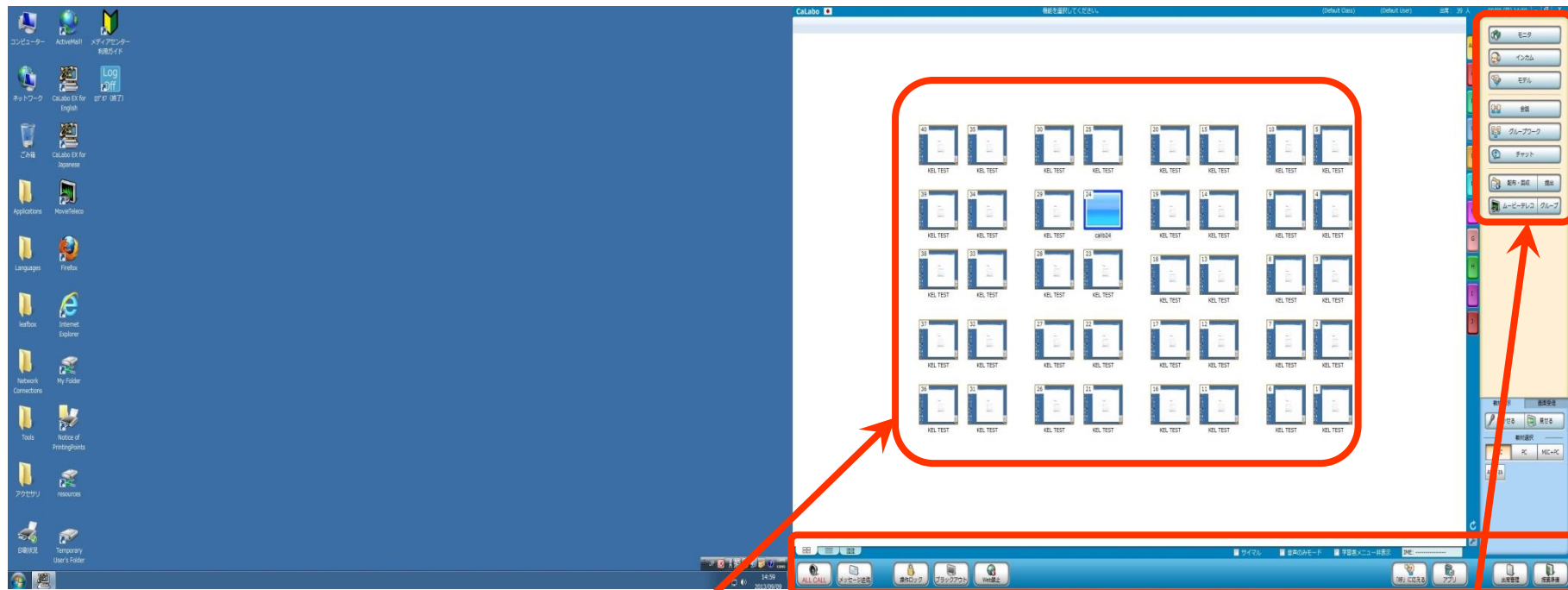
目次



・ 操作画面と操作手順の基本.....	3	・ ムービーテレコの機能.....	29
・ 機能ボタンの配置	4	・ AV機器の映像・音声を取り込む	30
・ 起動と終了.....	5	・ ムビーテレコのサーバに教材をアップする	31
・ 学習者PCの電源.....	6	・ Teachingモードで教材を見せる・聞かせる.....	32
・ 座席アイコンへ学習者名を表示.....	7	・ Teachingモードでシャドーイング／同時通訳	33
・ 出席結果の出力.....	8	・ Teachingモードでリピーティング／逐次通訳	34
・ 全員のヘッドセットに呼びかける.....	9	・ Teachingモードで読み上げ音声を録音	35
・ メッセージ送信.....	10	・ ムービーテレコ：Self-Learningモード	36
・ 操作ロック／ブラックアウト／Web禁止.....	11	・ ムービーテレコ（学習者向け一画面の説明）	37
・ ヘッドセットで聞かせる.....	12	・ ムービーテレコ（学習者向け一教材を聞く・録音する）	38
・ ビデオをみせる.....	13	・ ムービーテレコ（学習者向け一教材・録音した音声を保存する）	39
・ 先生の画面を見せる（聞かせる）	14	・ 学習者メニュー	40
・ 一人ずつモニタリング.....	15	・ アイコン表示とサムネイル表示.....	41
・ 順番にモニタリング（巡回モニタ）	16	・ 「音声のみ」（モニタ／インカム／モデル）	42
・ 個別指導.....	17	・ モニタして評価・コメントをつける	43
・ 1人に発表させる.....	18	・ プチメッセージ送信.....	44
・ 学習者をランダムに指名する・発表する	19	・ チャット.....	45
・ ペア（または3～8人）で会話をさせる	20	・ 会話のサブメニュー（1）	46
・ 会話のメンバーを自由に組み替える.....	21	・ 会話のサブメニュー（2）	47
・ 課題（Wordなど）を配布する.....	22	・ グループワーク（1）グループの作成.....	48
・ 課題（Wordなど）を回収する.....	23	・ グループワーク（2）グループワーク.....	49
・ 課題（Wordなど）を提出させる.....	24	・ 学生の入力言語を切り替える.....	50
・ 指定のWebサイトを一齐に表示する.....	25	・ その他機能（アプリ）	51
・ アナライザーを起動する.....	26	・ 出席結果の集計.....	52
・ アナライザーの問題種類と設定.....	27	・ ファイル保存先一覧.....	53
・ アナライザーを実行する	28		

【先生PC画面】

【コントロール画面】



座席アイコン

機能ボタン

- ・画面は「デュアルモニタ」です。右が学習者PCを制御するための「コントロール画面」、左が先生作業用の「先生PC画面」です。マウスを左右に移動させると、2つの画面を操作できます。
- ・コントロール画面には、左側に教室のレイアウトに合わせた座席アイコン、右側と下部に機能ボタンが並んでいます。授業中は主にコントロール画面を操作します。

機能ボタンの配置

言語切り替え

サブメニュー

クラスエリア

指導

学習者間の活動

個別学習

教材提示



メッセージ



禁止



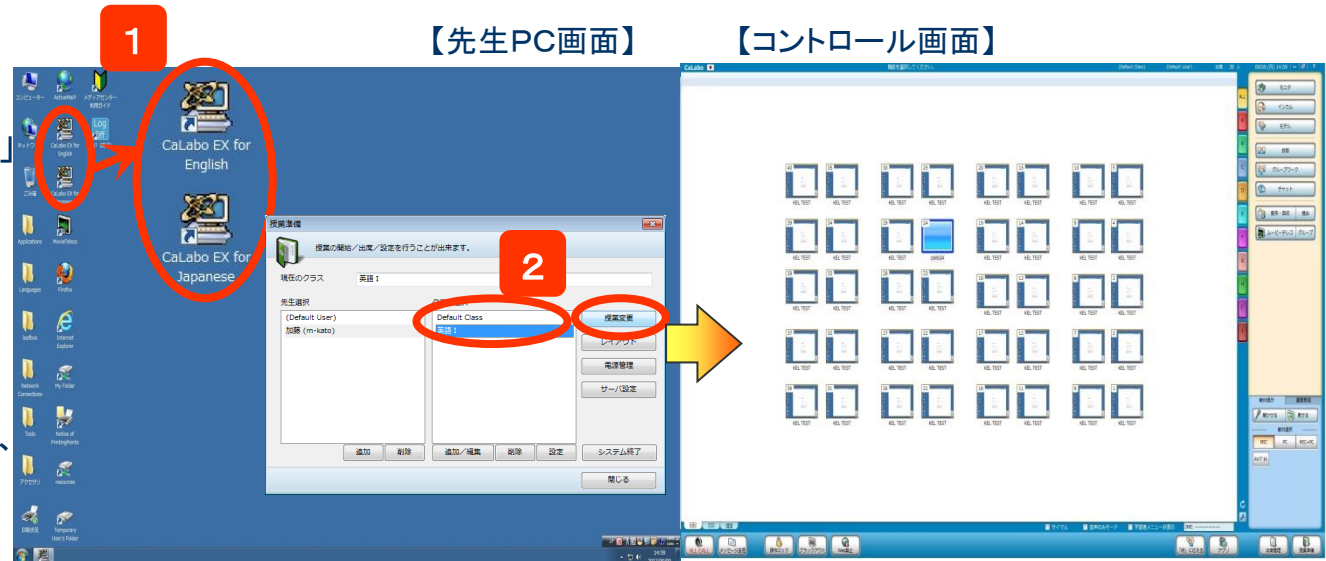
管理

起動

1. デスクトップ上の「CaLabo EX for Japanese」「CaLabo EX for English」アイコンをダブルクリック

⇒ 「授業準備」ダイアログがCaLabo EX コントローラが表示されます

※ それぞれで表示言語を日本語、英語にして起動します。



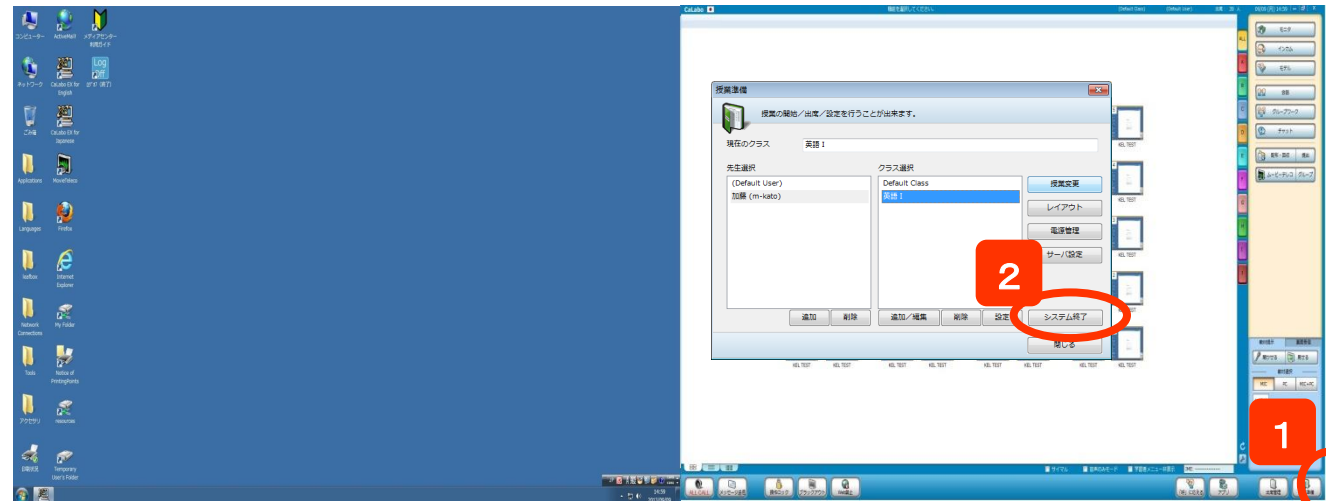
【先生PC画面】

【コントロール画面】

終了

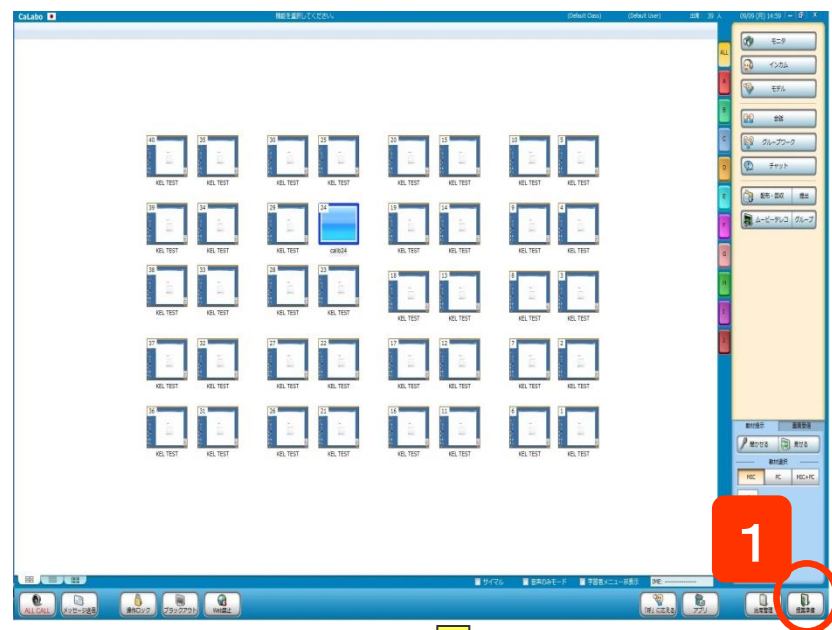
1. [授業準備]ボタンをクリック
2. ダイアログで[システム終了]ボタンをクリック

⇒ 確認メッセージが表示され、[OK]を選択すると、通常のWindows画面にもどります



学習者PCの電源管理

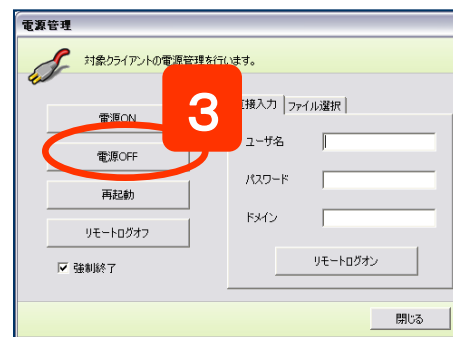
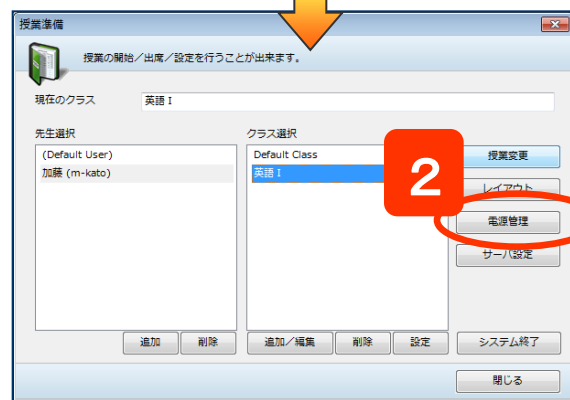
CaLabo EX コントローラから 学習者PCの電源を一斉にONすることができます。
他に、「一斉電源OFF」「再起動」「一斉ログオン/ログオフ」もできます。

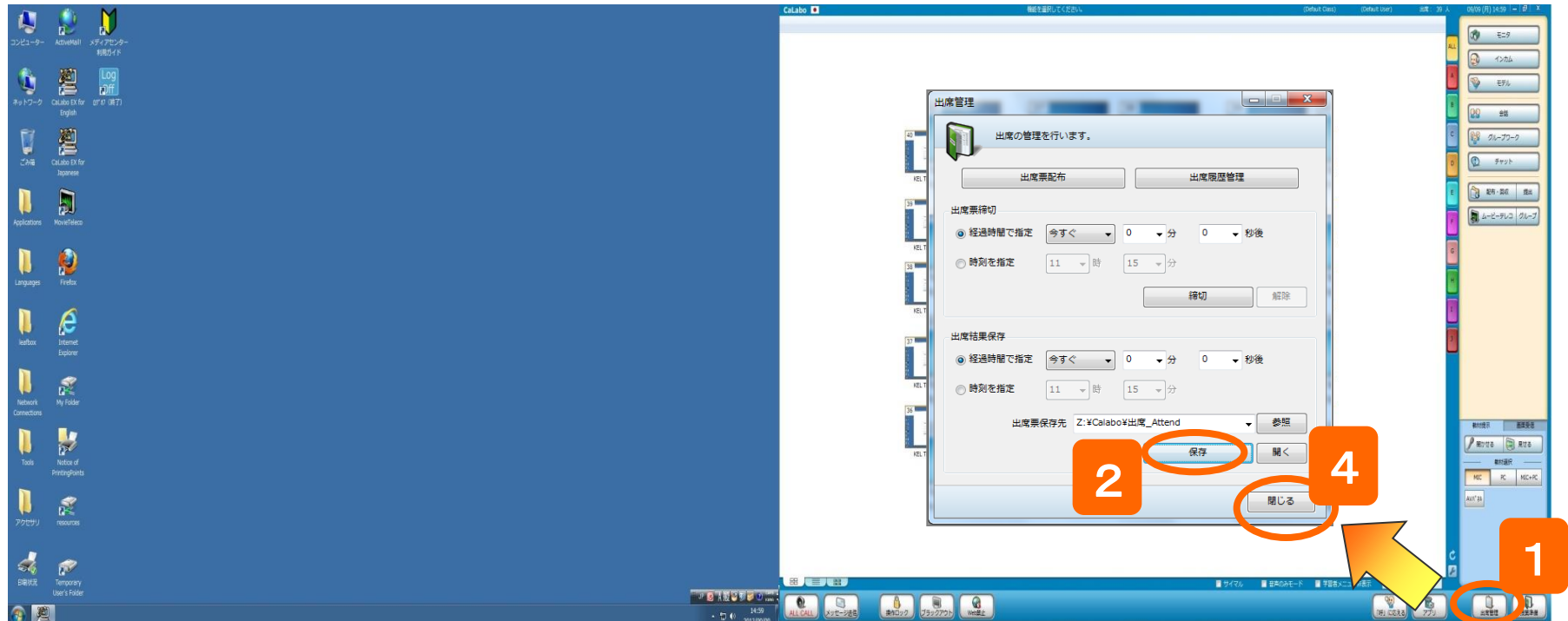


1. [授業準備]ボタンをクリック
⇒ 授業準備ダイアログが表示されます。
2. [電源管理]ボタンをクリック
⇒ 電源管理ダイアログが表示されます。
3. [電源ON]ボタンをクリックします。

※ 一部のPCを対象とする場合は、手順1. の前に対象となる座席アイコンを選択しておきます。

※ 同様の手順で、[電源OFF][再起動][ログオフ]ができます。

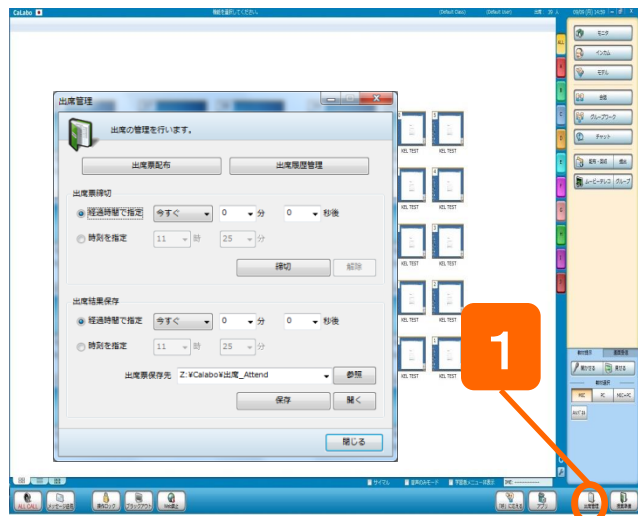




1. 出席をとりたいタイミングで[出席管理]ボタンをクリック
⇒ 「出席管理」ダイアログが表示されます
2. 出力先を指定して[保存]ボタンをクリック
⇒ 指定しなければデスクトップとなります
3. 保存の確認のダイアログで、[はい]ボタンをクリック
4. 授業にもどる場合は[閉じる]ボタンをクリック

出席データ保存のタイマー設定

— 毎回授業のときに設定する —

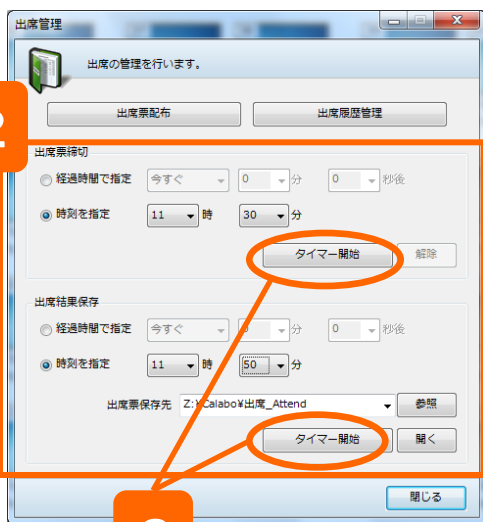


1. [出席管理]をクリック
⇒「出席管理」ダイアログが表示されます

2. 「出席管理」のメニューで出席ファイル出力の設定

- * 出席票締切の設定
出席を指定の時間で締切、その後出席した学習者を遅刻者にする
- * 出席票締切の設定
出席ファイルの出力を指定の時間に行う

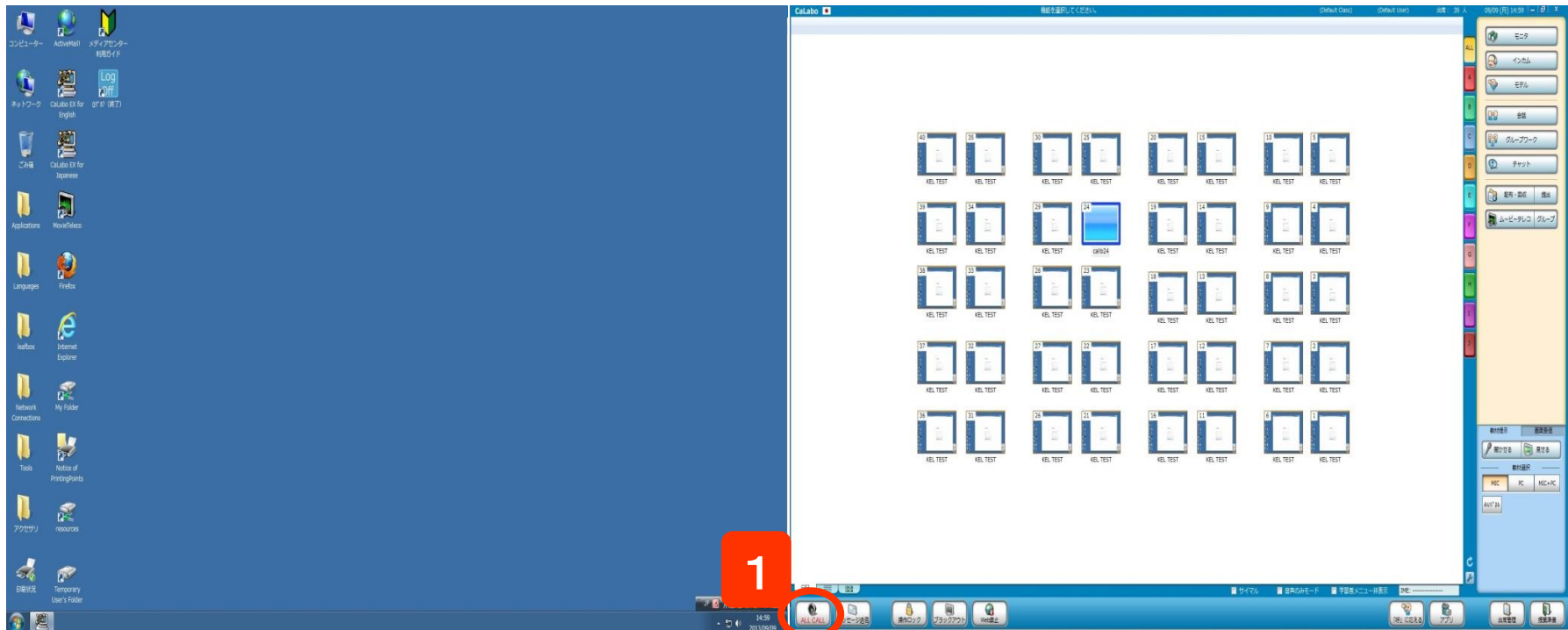
3. 設定したら[タイマー開始]をクリック
⇒タイマーが開始され、指定した時間に出席の締切／出席ファイルの出力が実行されます



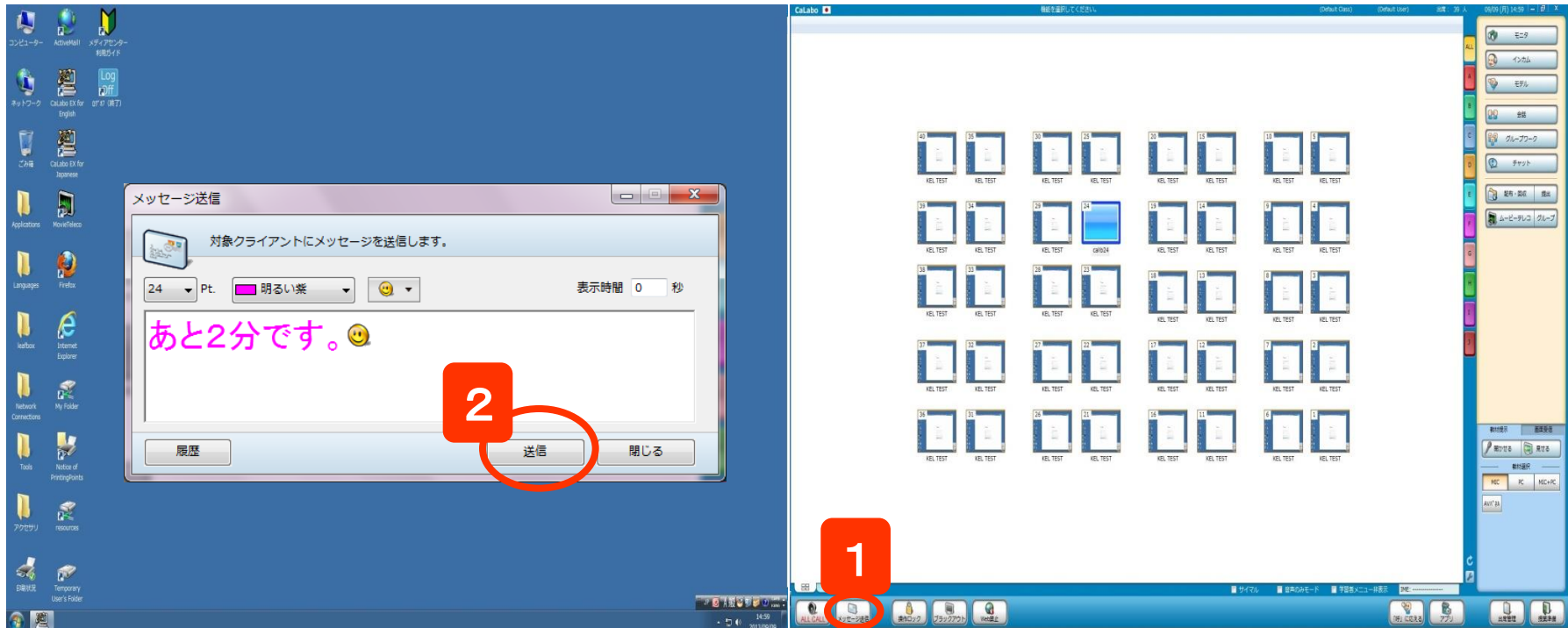
【出席管理メニュー】

出席票締切 ※締切後にログインした学習者は遅刻者(latecamer)となります	経過時間で指定	授業開始後何分後に締め切るかを指定
	時刻で指定	何時何分かに締め切るかを指定
出席結果保存 ※保存後にログインした学習者は出席票には反映されず欠席となります	経過時間で指定	授業開始後何分後に保存するかを指定
	時刻で指定	何時何分かに保存するかを指定
出席票保存先	出席ファイルを出力するフォルダを指定	

全員のヘッドセットに呼びかける (ALL CALL)



1. [ALL CALL] ボタンをクリック
→学習者のヘッドセットに先生マイク音声が聞こえます
 2. 解除するには、[ALL CALL] ボタンを再度クリック
- ※ [ALL CALL]は常に出席者全員が対象です



1. [メッセージ送信]ボタンをクリック

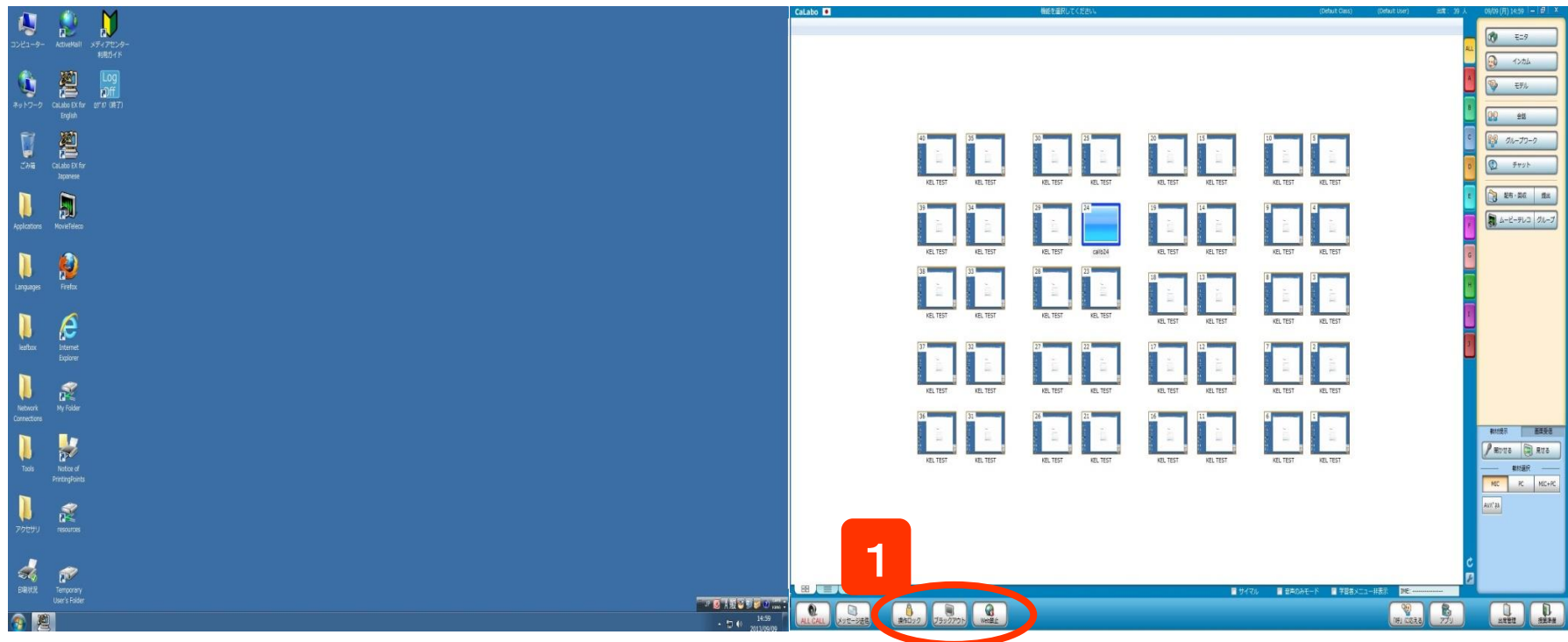
⇒ メッセージ画面が表示されます。

2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、[送信]ボタンをクリック

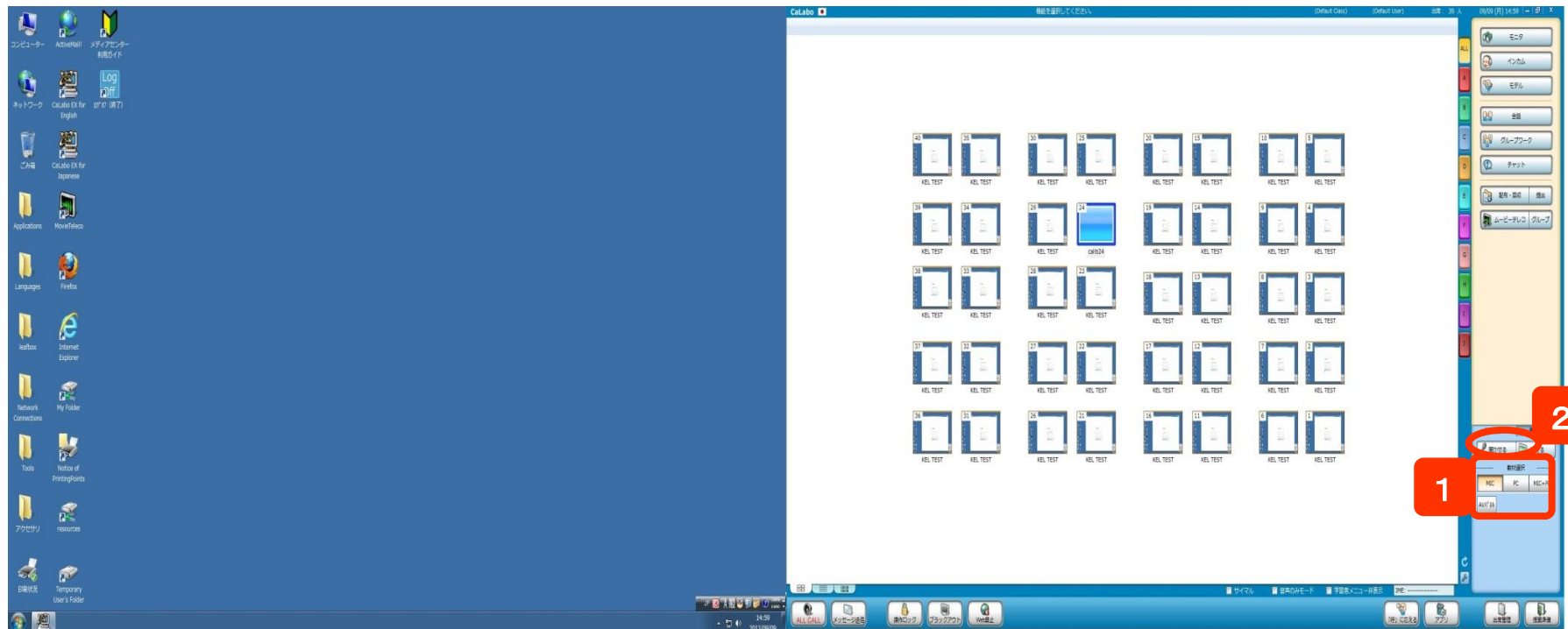
⇒ 学習者にメッセージが表示されます。

※ 一部の学習者にメッセージを送る場合は[メッセージ送信]ボタンをクリックする前に対象となる座席を選択しておきます。

- フォントサイズ : メッセージのフォントサイズを変更します。
- フォントカラー : メッセージの色を変更します。
- エモーティコン(顔文字) :
 - メッセージ中にエモーティコンを挿入します。
- 表示時間 : 学習者PCに表示されたメッセージを指定した時間で閉じます。(「0秒」を指定した場合、学習者が自分で閉じるまで表示されたまとなります。)



1. [操作ロック] ボタンをクリック
⇒ 学習者のキーボード・マウスが操作できなくなります。
- [ブラックアウト] ボタンをクリック
⇒ 学習者の画面が真っ黒になり、キーボード・マウスが操作できなくなります。
- [Web禁止] ボタンをクリック
⇒ 学習者側で開いていたWebサイトが閉じ、Webブラウザを起動できなくなります。
※ 禁止するブラウザはシステムで設定できます。
2. 解除するには、クリックしたボタンを再度クリック



1. 「教材提示」パネルから、聞かせたい音声のボタンをクリック

⇒ AVパネルを選択した場合は、卓上AV操作パネルのCalaboで選択しているAV機器の音声が流れます

2. [聞かせる]ボタンをクリック

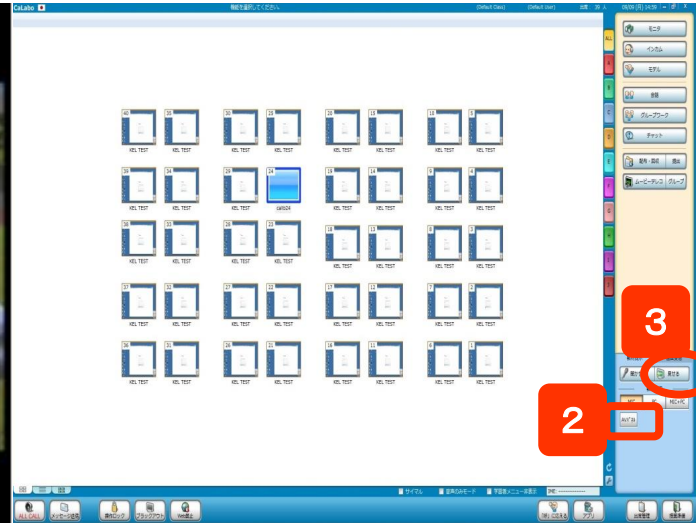
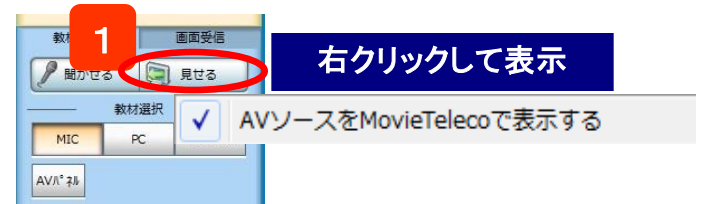
⇒ 学習者のヘッドセットに選択した音声が流れます

ビデオを見せる

(学習者画面と学習者のヘッドセットに流す：見せる)

1. [見せる]ボタンの上で右クリックして「AVソースをMovieTelecoで表示する」にチェックが入っていることを確認

⇒ チェックが入っていない場合、チェックを入れます。



2. 教材選択の中からAVパネル機器を選択
3. [見せる]ボタンをクリックしてONにする

⇒ 先生モニタ画面と学習者画面に”卓上AV操作パネルのCalaboで選択しているAV機器”の映像・音声が表示されます。

画像送出中のマイク音声での指示

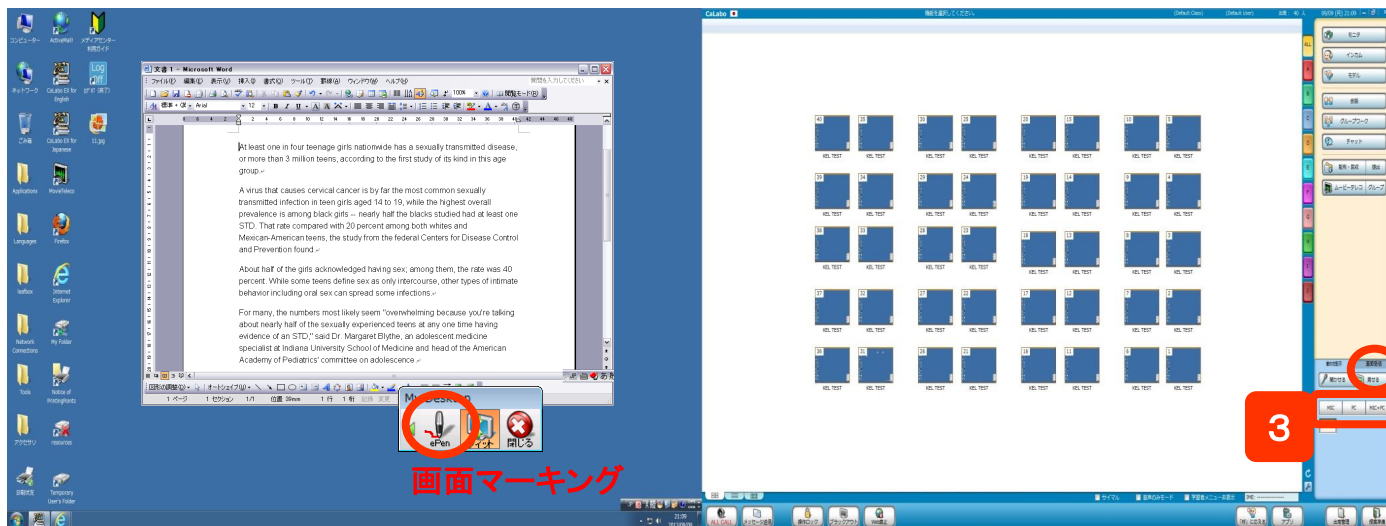
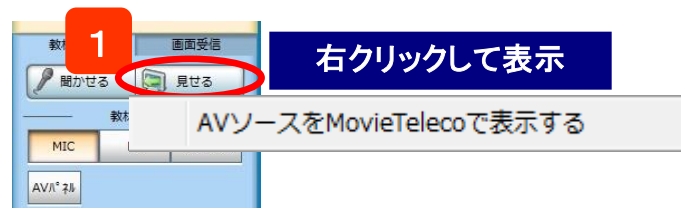


[見せる]を押下すると左のように表示が変わります。
[+MIC]ボタンを押下すると、AV機器の音声にミックスして、先生ヘッドセットのマイク音声を聞かせることができます。

先生の画面を見せる(聞かせる)

(資料の提示/操作の説明)

1. [見せる]ボタンの上で右クリックして「AVソースをMovieTelecoで表示する」のチェックが外れていることを確認します。
⇒ チェックが入っている場合、チェックを外します。



2. [見せる]ボタンをクリック
※ 同時に[聞かせる]ボタンがONになります
3. 「教材選択」パネルから、聞かせたい音声のボタンをクリック(MIC・PC・MIC+PC)
⇒ 学習者画面に先生画面が表示され、ヘッドセットには選択した入カソースの音声が流れます

画面マーキング(ePen)

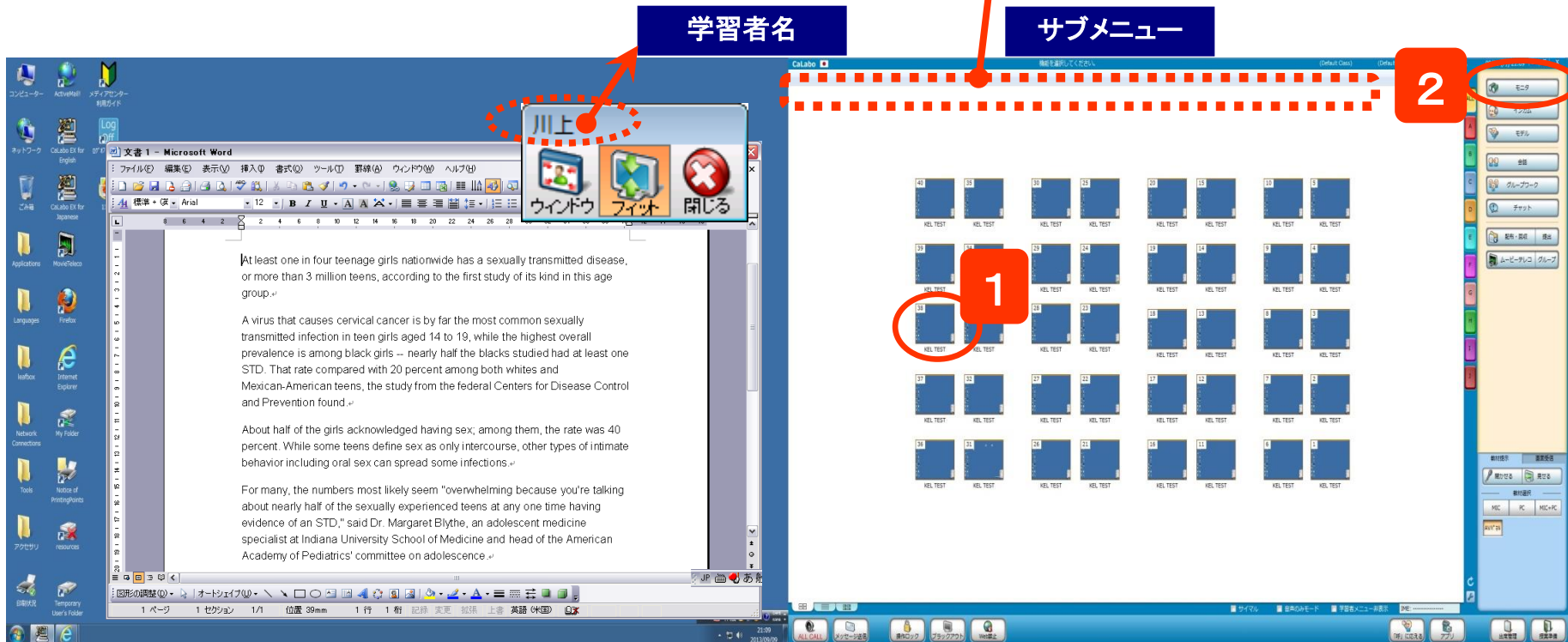
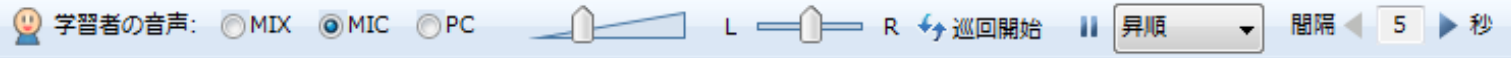


① ② ③ ④ ⑤

- ① マウス操作/マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

1人ずつモニタリング

サブメニューの「学習者の音声」でモニタリング音声を切り替えたり、音量を調整することができます。
MIC:学習者のマイク音声, PC:学習者のPC音声, MIC+PC:学習者のマイクとPCの音声



1. モニタしたい座席アイコンを選択(複数選択は不可)
2. [モニタ]ボタンをクリック。

→ 左側の先生画面に、選択した学習者の画面が表示され、補助機能バーのタイトルに学習者名が表示されます。
※ モニタ対象者を変更したい場合は、その座席アイコンを選択します。(複数選択は不可)

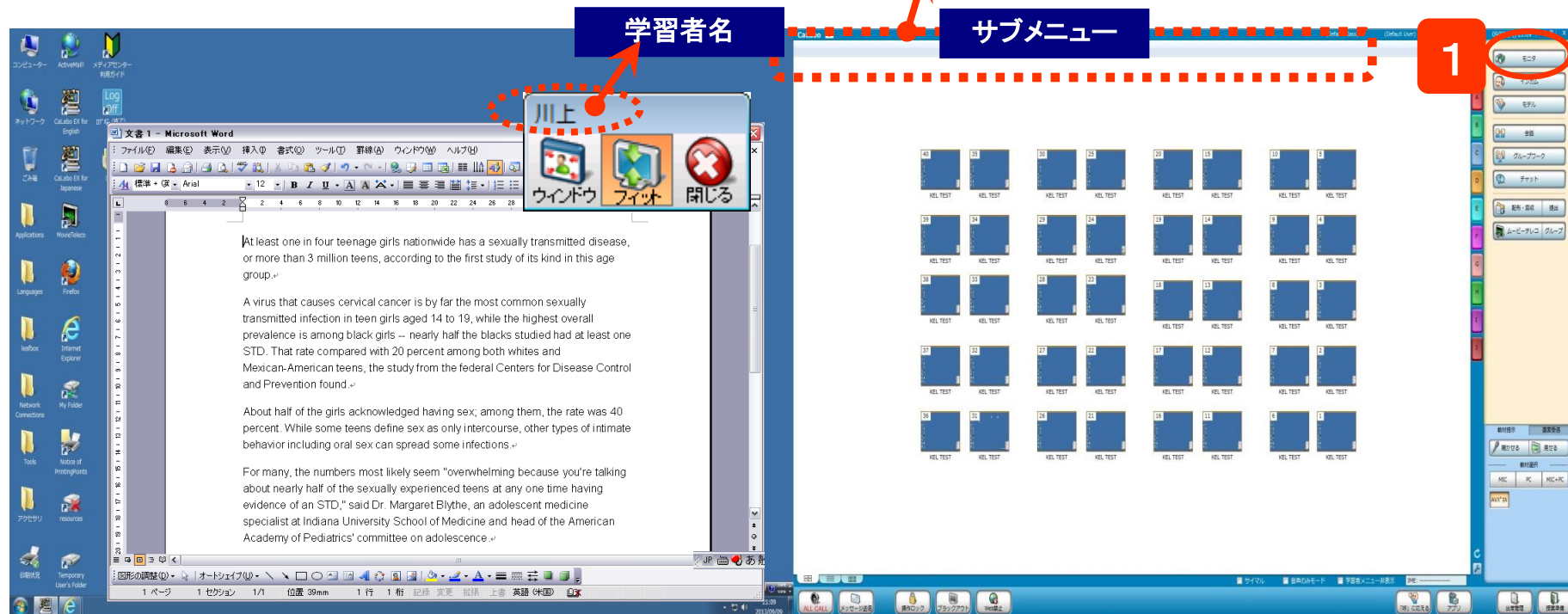
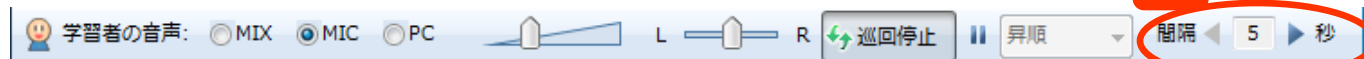
順番にモニタリング(巡回モニタ)

サブメニューの「学習者の音声」でモニタリング音声を切り替えたり、音量を調整することができます。

MIC:学習者のマイク音声, PC:学習者のPC音声, MIC+PC:学習者のマイクとPCの音声

* 次の学習者へ移るまでの秒数を指定したい場合

サブメニュー「間隔」の ◀ ▶ をクリックします。(5 ~ 20秒)



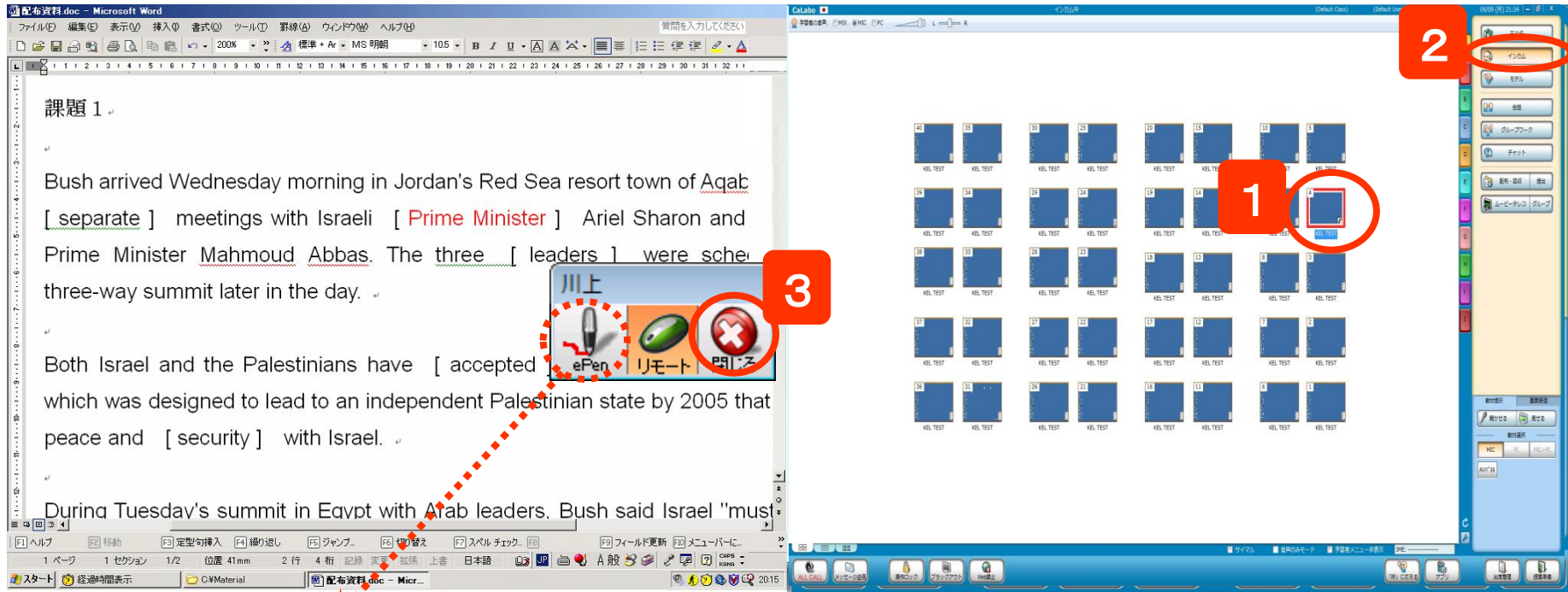
1. [モニタ]ボタンをクリック

→ 左側の画面に、座席番号順に学習者画面が表示され、補助機能バーのタイトルに学習者名が表示されます。一定時間経つと、次の学習者へ移ります。

※ [モニタ]をクリックする前に複数の座席を選択しておく、それらの座席を順番に表示します。

個別指導

(1対1の通話／先生による添削指導)



画面マーキング(ePen)

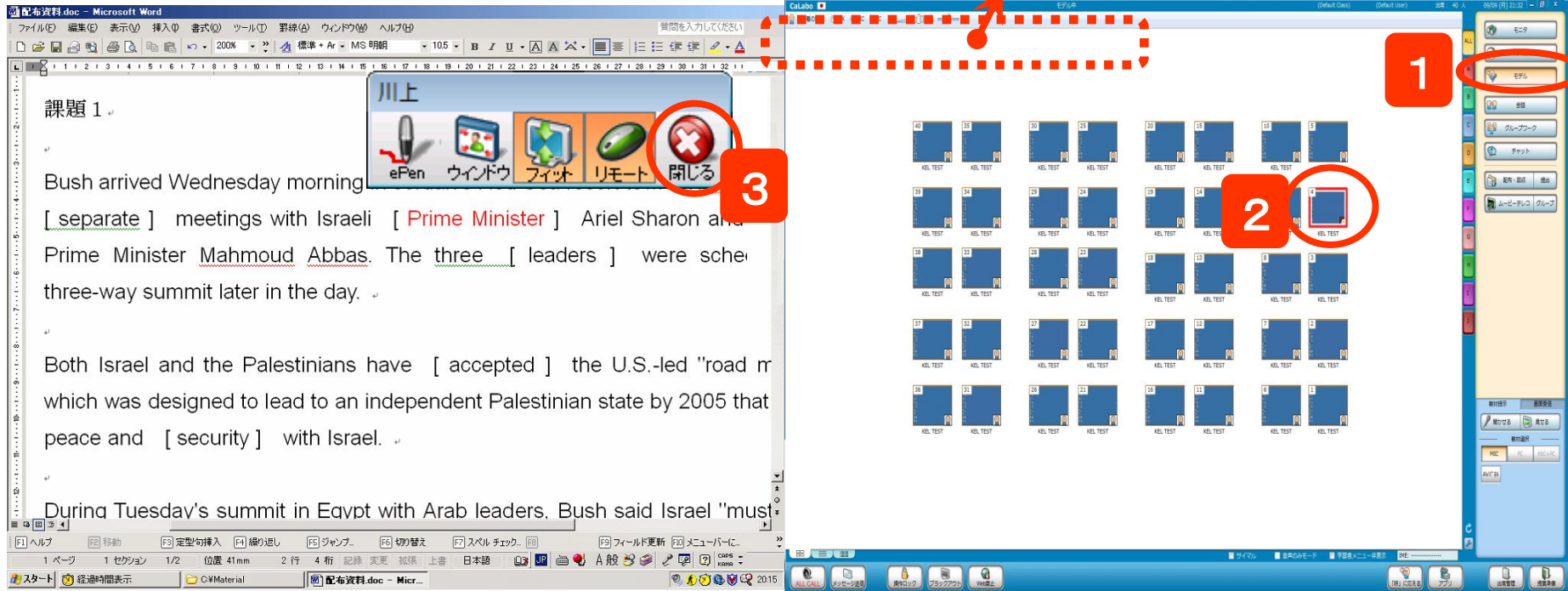


- ① マウス操作／マーキング切り替え
- ② 色変更
- ③ 太さ変更
- ④ 描画種類変更
- ⑤ 全消去

※ 手順1, 2. の代わりに、座席アイコンをダブルクリックしても [インカム]状態になります。

1. 添削したい学習者をクリック
2. [インカム] ボタンをクリック
→ 左画面に学習者画面が表示され、直接操作できます。
※ 先生ヘッドセットでは、サブメニューの「学習者の音声」で選択中の音声聞こえます。
→ 対象者を変更するには次の座席アイコンをクリックします。
3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック、または再度 [インカム] ボタンをクリック

1人に発表させる (発表／全員の画面に映して添削指導)



1. [モデル]ボタンをクリック

2. 発表させたい学習者をクリック

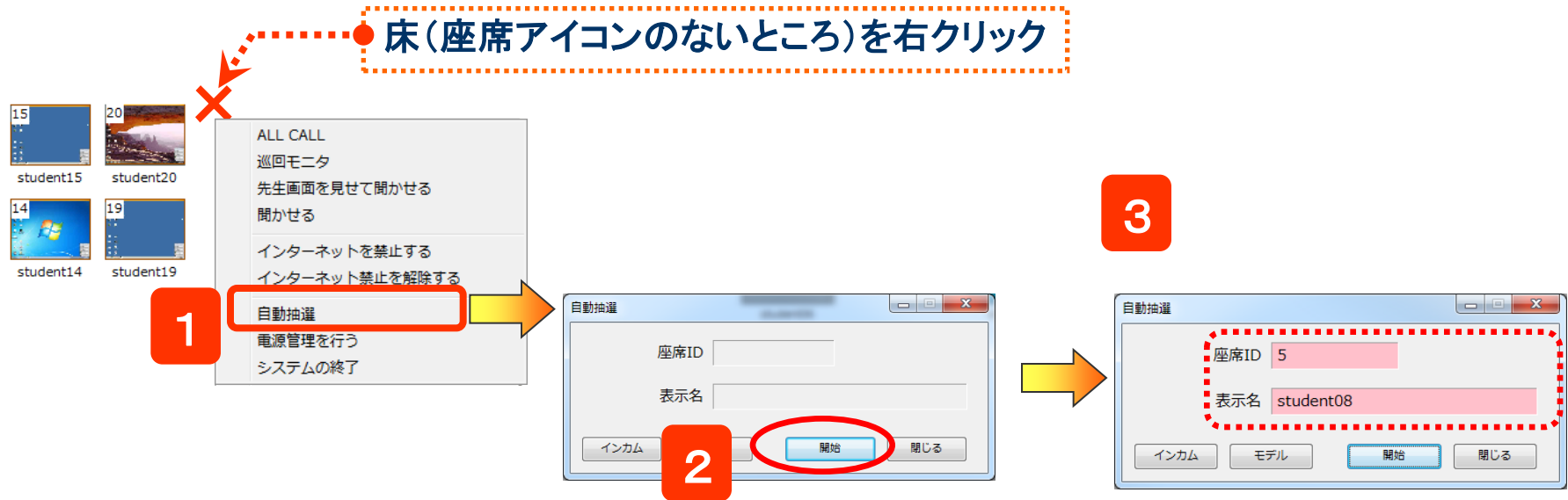
⇒ 左の先生画面と学習者全員に発表者画面が表示されます。先生は発表者画面を直接操作できます。
※ サブメニューの「学習者の音声」で選択した音声を全員に聞かせることができます。

⇒ 発表元の画面をWindowサイズで表示するには補助機能バーの[ウィンドウ]をクリックします。

⇒ モデル元を変更するには、別の座席アイコンをクリックします。

3. やめるには補助機能バーの [閉じる] ボタンをクリック または 再度 [モデル] ボタンをクリック

※ 手順1. 2. を逆にすると、発表先を選ぶダイアログが表示され、一部の学習者に対して発表できます。



1. クラスエリアの座席のない部分で右クリックし、表示されるメニューから「自動抽選」を選択
⇒「自動抽選」ダイアログが表示されます。

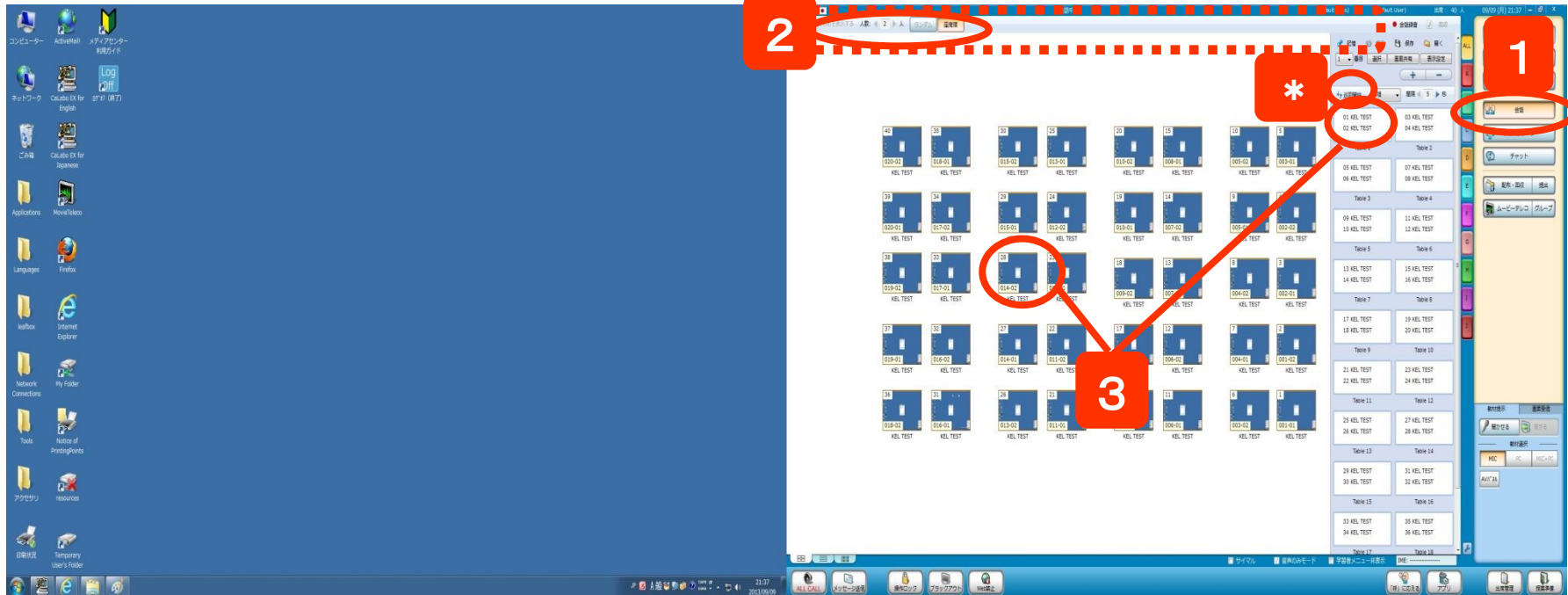
2. [開始]ボタンをクリック

⇒少しすると、座席ID・表示名欄に1人の学習者が表示されます。表示欄の背景がピンク色になります。

※ 抽選後に[インカム] / [モデル]ボタンをクリックすると、対象者とインカムする / 対象者をモデル元にする
ことができます。

※ 特定の学習者(複数)の中から選びたい場合、対象となる座席アイコンを選択状態にします。
(現在出席中の学習者全員の中から選びたい場合は、特に選択する必要はありません)

ペア (または3~8人) で会話をさせる



1. [会話]ボタンをクリック
⇒クラスエリアにTableエリアが表示されます。
2. サブメニューで、人数を指定し、[ランダム]または[座席順] (もしくは[縦ペア] [横ペア])ボタンをクリック
⇒Tableが表示され、学習者は会話できる状態になります。
3. Table または 座席アイコンをクリックすると、会話音声を聞くことができます。

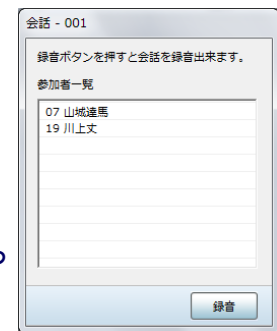
モニタ対象を切り替えるときは、ほかのTable または 座席アイコンをクリックします。

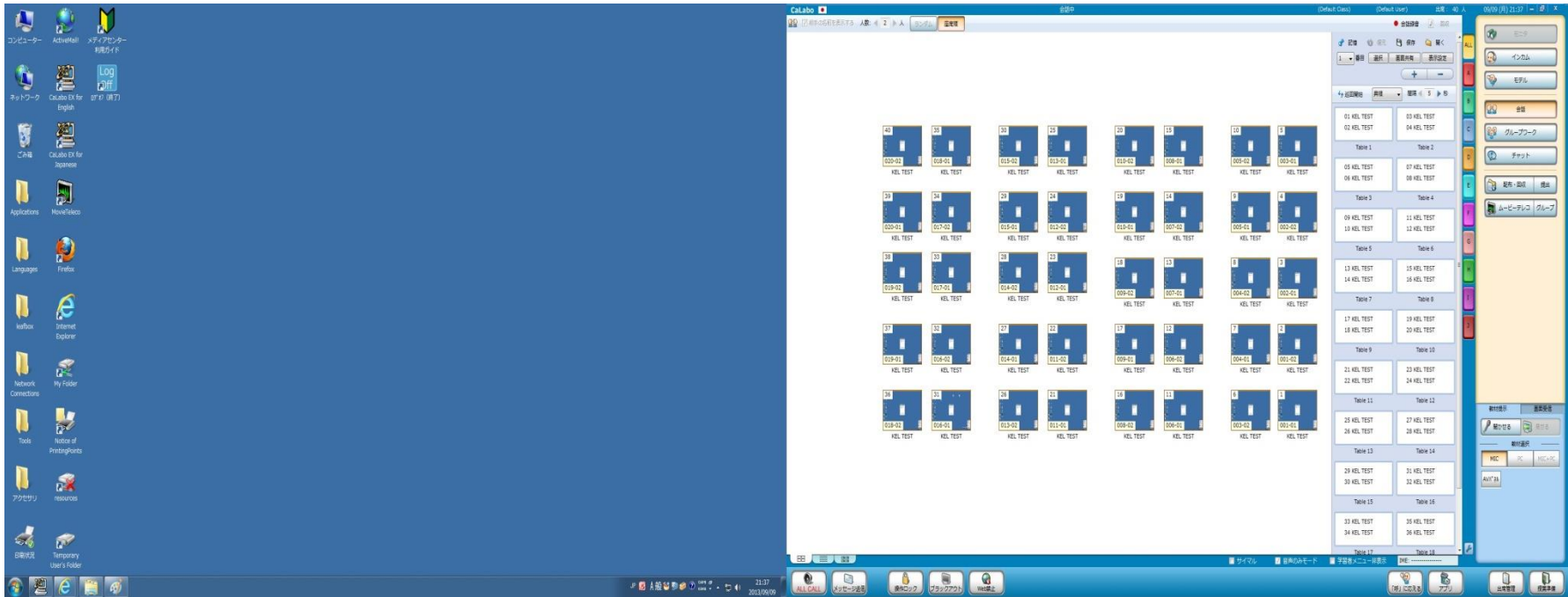
* [巡回開始]をクリックすると、Table番号の昇順／降順に自動で順次モニタできます。

学習者画面

会話ウィンドウで会話相手を確認できます。

※ お互いの名前を表示しないためには、手順2. でサブメニュー「相手の名前を表示する」のチェックを外してからボタンをクリックします。
(匿名モード)

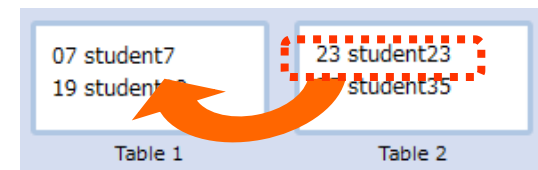




2通りの方法があります。

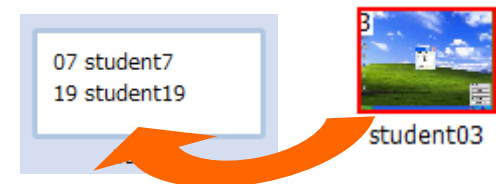
(A)会話中に

Table内の学習者名をドラッグ&ドロップして組み替え

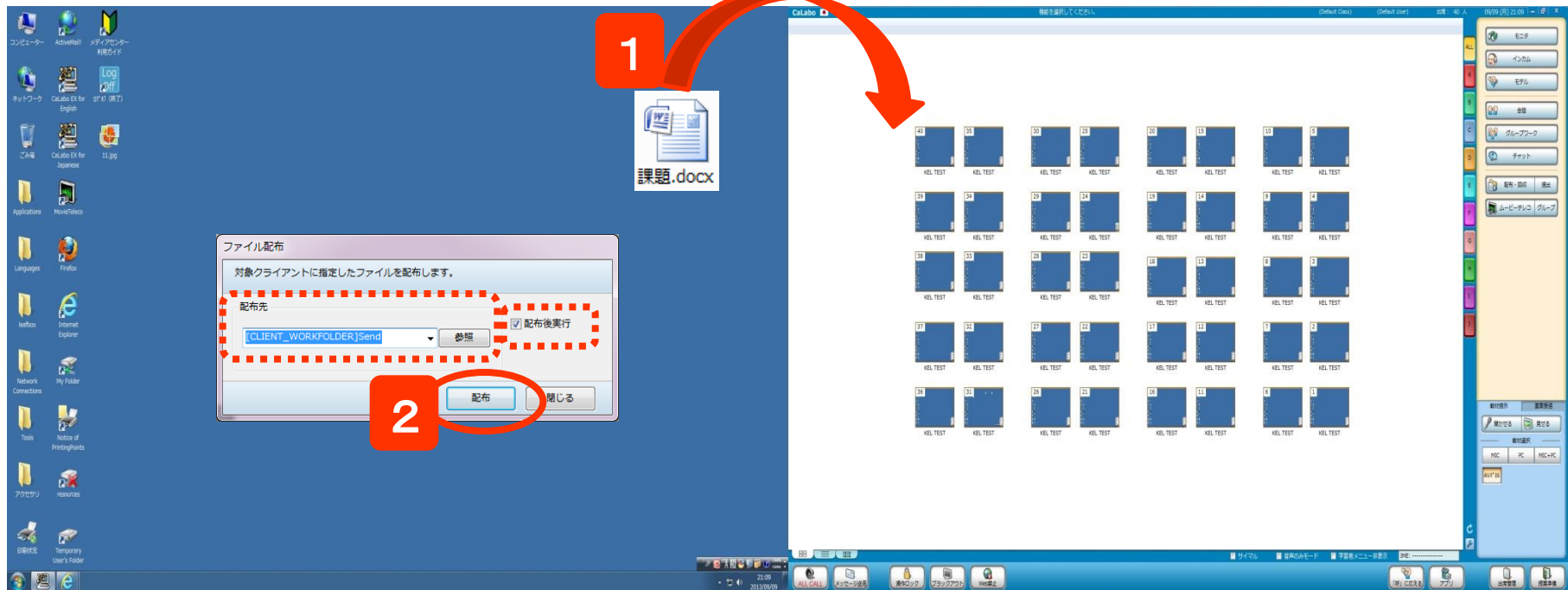


(B)または、座席アイコンをTableにドラッグ&ドロップして組み替え

※会話実行時には出席していなかった学習者(遅刻者)の座席をドラッグ&ドロップで会話に加えることができます。



ドラッグ & ドロップ

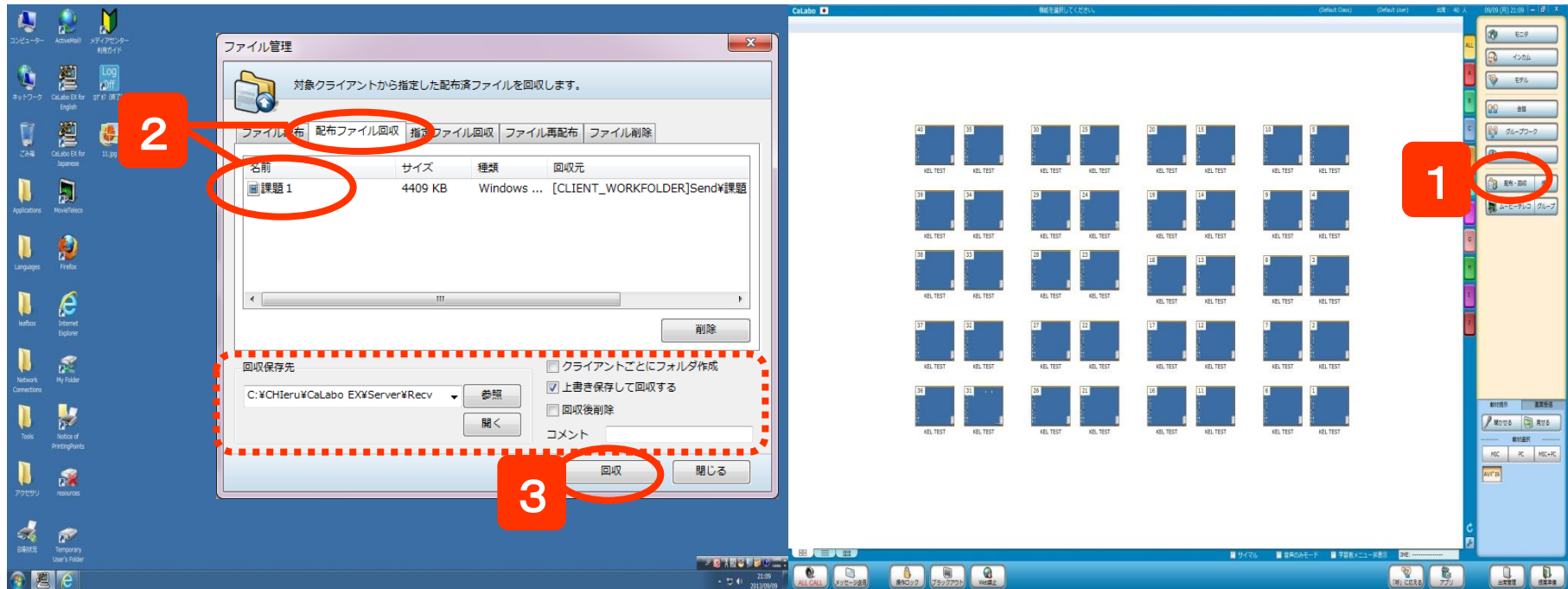


1. 配布したいファイルをクラスエリアにドラッグ & ドロップ
⇒ [ファイル配布] ダイアログが表示されます。
2. 配布先のフォルダを確認して [配布] ボタンをクリック
⇒ 学習者PCにファイルがコピーされます。

※ 「配布後実行」にチェックを入れておくと、配布時に自動的にオープンします。

※ ファイルを選択する代わりにフォルダをドラッグ & ドロップすると、フォルダごと配布できます。

※ 配布後に出席した学習者には、配布済みのファイルリストが表示され、自分で取得できます。



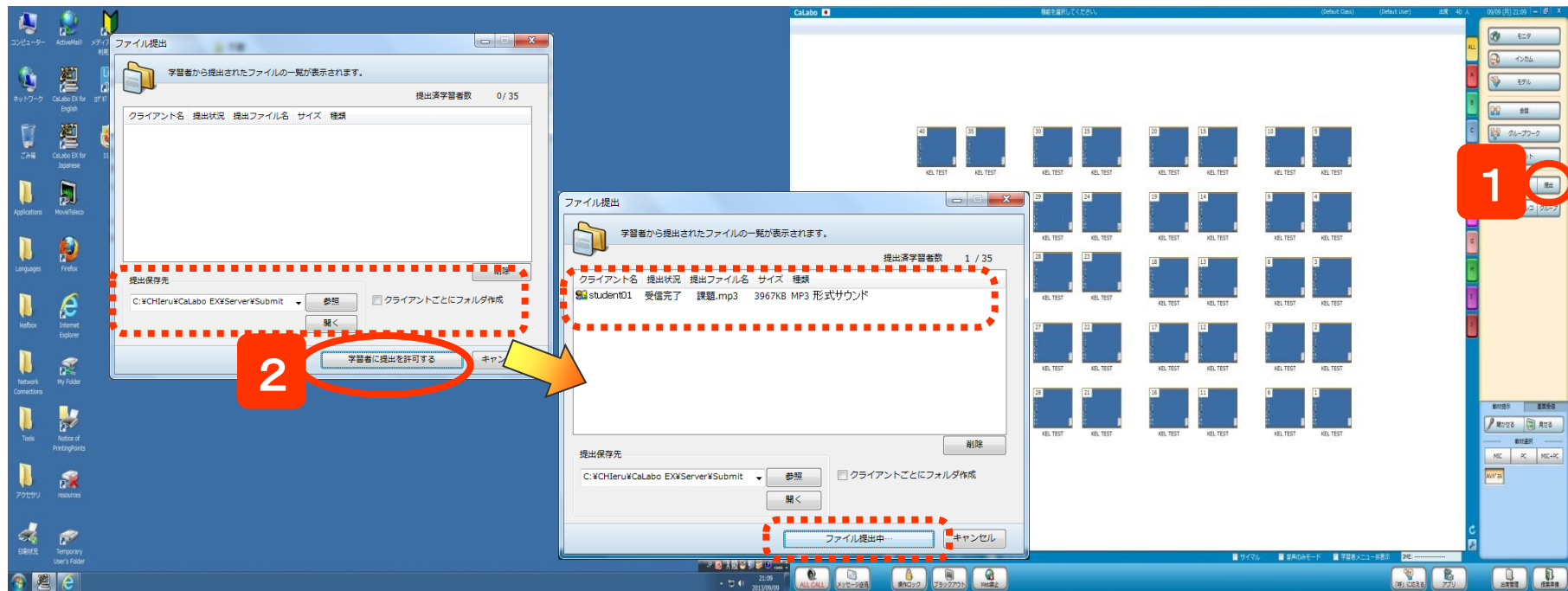
配布したファイルに書き込んだものを回収する方法です。

1. [配布／回収] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル管理」ダイアログが表示されます。
2. 「配布ファイル回収」タブのファイルリストから回収するファイル(またはフォルダ)を選択
3. 回収したファイルの保存先、回収時のオプションを確認後、[回収] ボタンをクリック
⇒ 指定したフォルダにファイル(またはフォルダ)が回収されます。

※ 回収時のオプションとして、

①学習者ごとのフォルダを作成する、②回収時に強制的に上書き保存するか、③回収後に学習者のファイルを削除するかを指定できます。

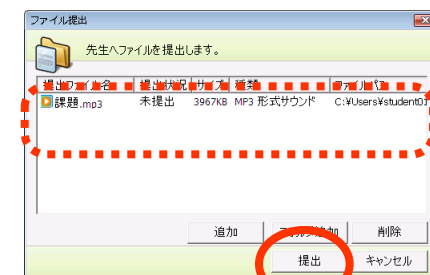
※ 「コメント」欄に入力したコメントは、「再配布」時にリストに表示されます。



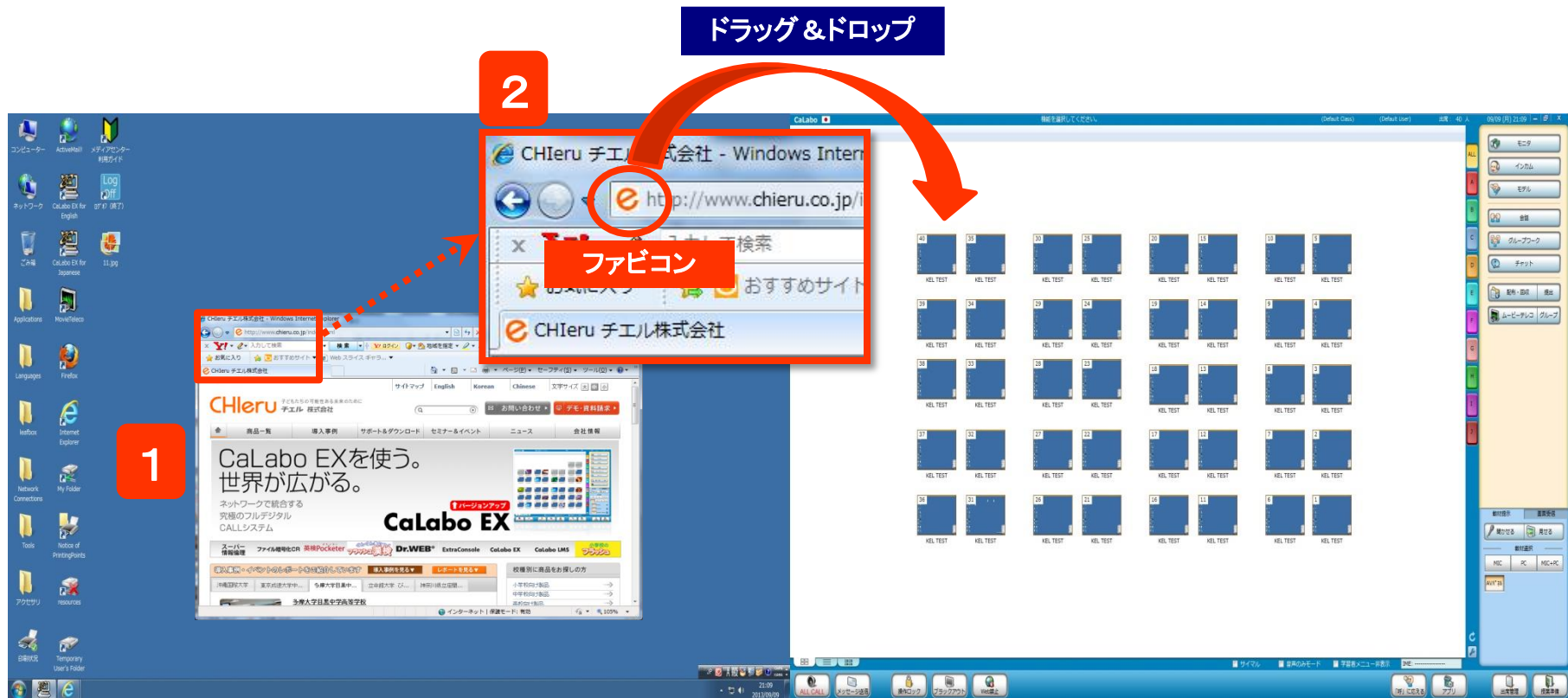
1. [提出] ボタンをクリック
⇒ 「ファイル提出」ダイアログが表示されます。
2. 提出されたファイルの保存先, 提出時のオプションを確認、
[学習者に提出を許可する] ボタンをクリック
⇒ ボタンが[ファイル提出中]に変わり、学習者がファイル提出
操作を完了するとリストに表示されます。

学習者画面

ファイル提出ダイアログに提出したいファイルをドラッグ & ドロップ、ファイルを選択して[提出]ボタンをクリックします

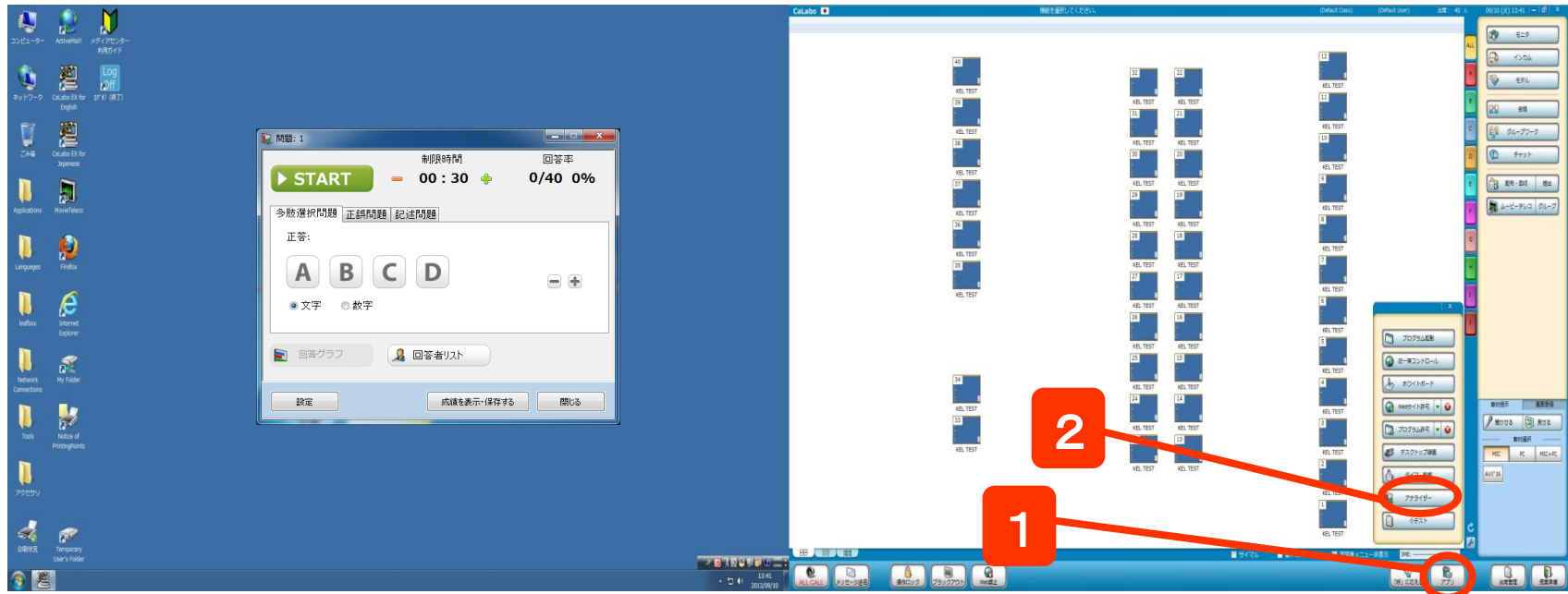


指定のWebサイトを一斉に表示する

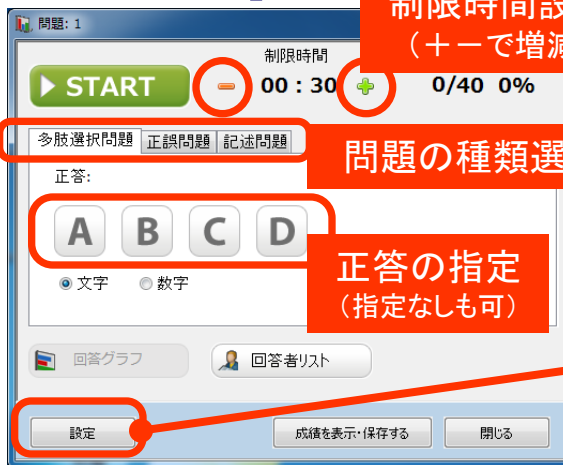


1. 一斉起動するWebサイトを先生PCで表示
2. Webサイトのファビコン(URL先頭にあるマーク)をクラスエリアにドラッグ&ドロップ
⇒ 学習者PCに指定したWebサイトが表示されます。

アナライザーを起動する



【アナライザー画面】

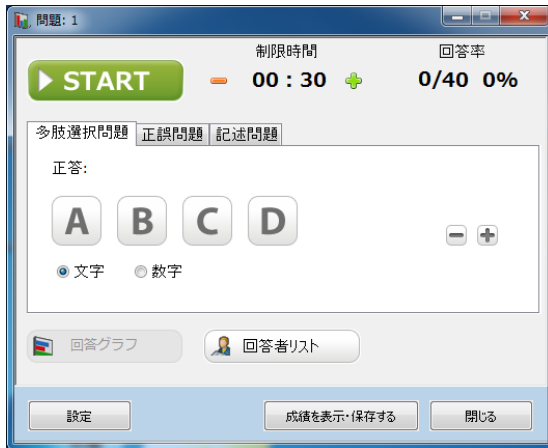


1. [アプリ]ボタンをクリック
⇒「アプリ」パネルが表示されます。
2. [アナライザー]ボタンをクリック
⇒アナライザー画面が表示されます。

- ・制限時間の既定値(30秒)
 - ・+ボタンの増減値(10秒)
 - ・STOP時に回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・学習者にも回答グラフを自動で表示(表示しない)
 - ・アナライザー画面終了時、自動でCSV保存(保存する)
(保存先=(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results)
- ※かっこ内は既定値

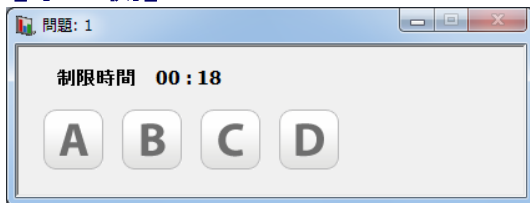
多肢選択問題

【先生側】



- 選択肢は2～6個([+][−]ボタンで増減)
- 単一正解
- ボタン表記はアルファベット(A～F)または数字(1～6)を指定可

【学生側】



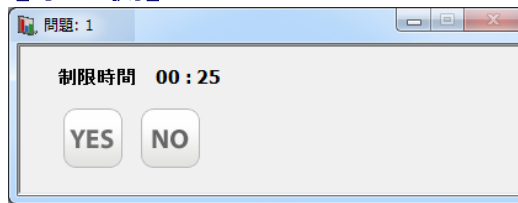
正誤問題

【先生側】



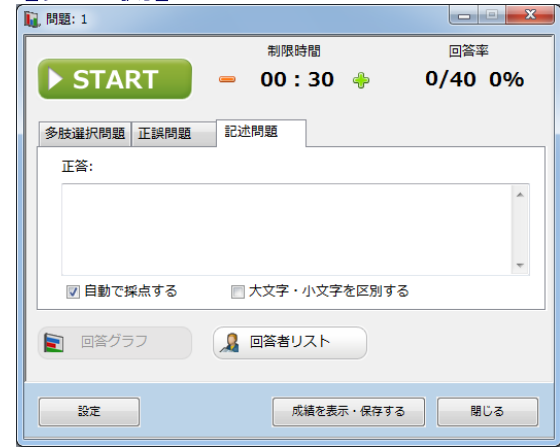
- ボタン表記は「Y/N」「✓/×」「○/×」を指定可

【学生側】



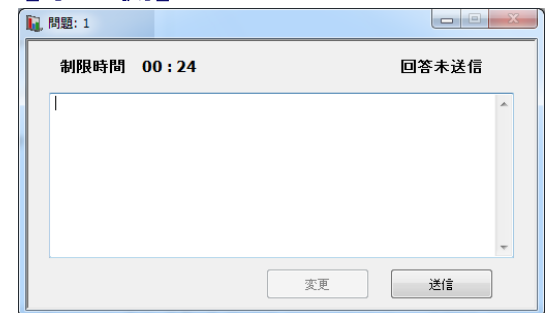
記述問題

【先生側】



- 正答と「自動で採点する」を指定すると正誤判定可
- 自動で採点する場合、大文字・小文字を区別するか否かを指定可

【学生側】



アナライザーを実行する



1. 問題種類, 正答, 制限時間を指定し、[START]ボタンをクリック

⇒ [START]ボタンが[STOP]ボタンに変わり、制限時間のカウントダウンが始まります。「回答率」には出席者数と回答者数、回答した割合(%)が表示されます。
同時に、学習者側にアナライザー回答画面が表示され、学習者の回答を受け付けます。

※ 正答は、問題実行前ではなく、回答受け付けを締め切った後に指定することもできます。
※ 制限時間は、問題実行中でも[+][−]ボタンで変更することができます。



2. 制限時間前に回答受け付けを締め切るには[STOP]ボタンをクリック

⇒ 回答を締め切り、手順1. の画面にもどります。



3. [回答グラフ][回答者リスト]ボタンをクリック

⇒ 選択肢ごとの回答者数の棒グラフ(記述問題の場合、回答/未回答数)、学習者ごとの回答内容の一覧を表示します。(回答受け付け中も表示できます。)
[学習者に表示する]をクリックすると、同じ内容を学習者に表示します。

4. アナライザーを終了するには[閉じる](または[×])ボタンをクリック

⇒ アナライザー画面や「回答グラフ」「回答者リスト」を閉じ、開始から終了までの結果をCSVファイルに出力します。

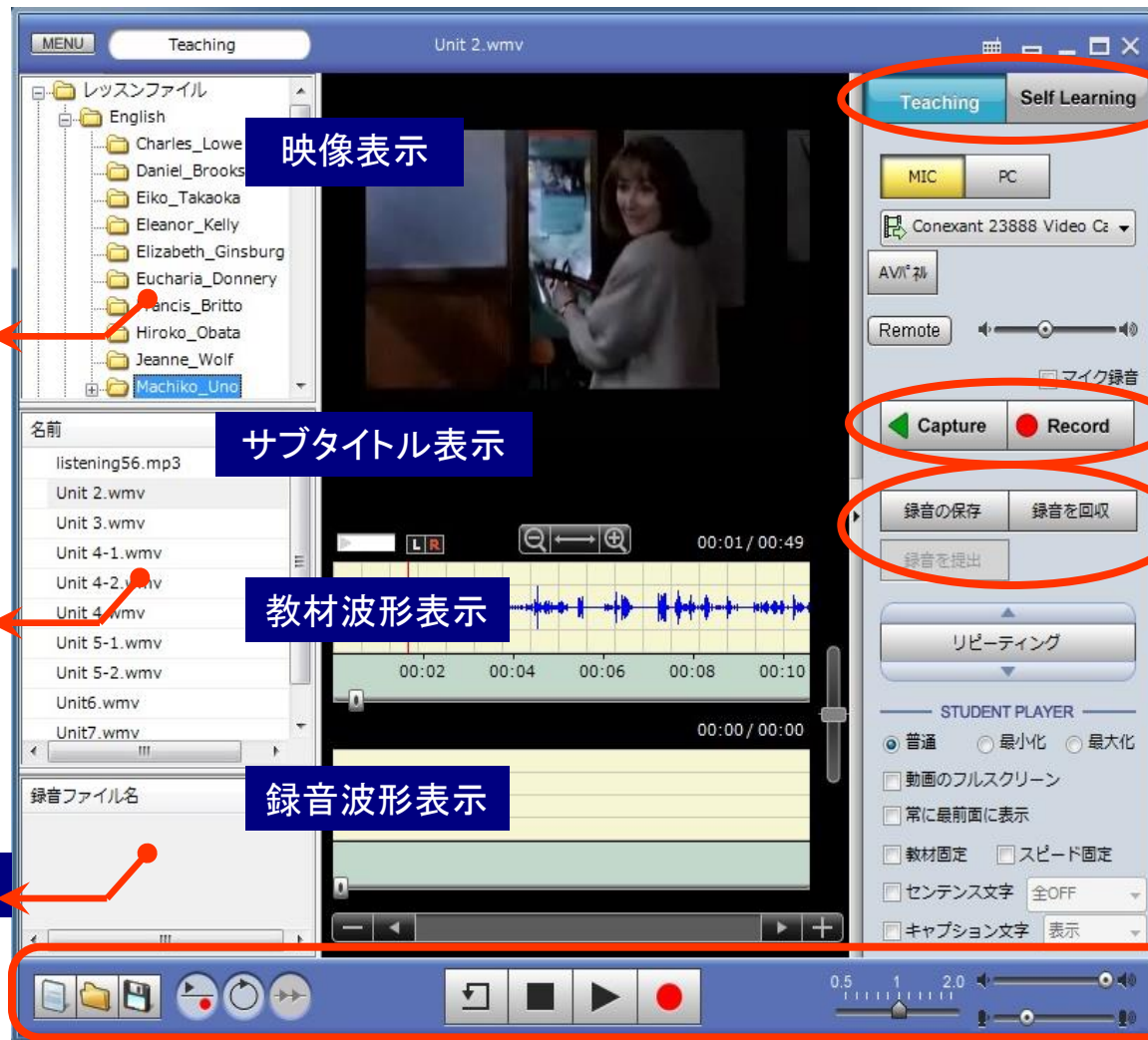
(ドキュメント)¥CHleru Analyzer Results ¥(日付)
¥AnalyzerResults_YYYYMMDD_hhmmss.csv



[学習者に表示する]ボタン

ムービーテレコの機能

- (1) AV機器の映像／音声をキャプチャ／録画・録音し、ファイル化する
- (2) 先生の制御でシャドーイングや通訳練習する(Teachingモード)
- (3) 学習者自身が操作し、個別に練習する(Self-Learningモード)



映像表示

教材フォルダ

サブタイトル表示

教材リスト

録音波形表示

テンポラリ録音リスト

Teaching Self Learning

モード切替ボタン

Capture Record

キャプチャ／録画

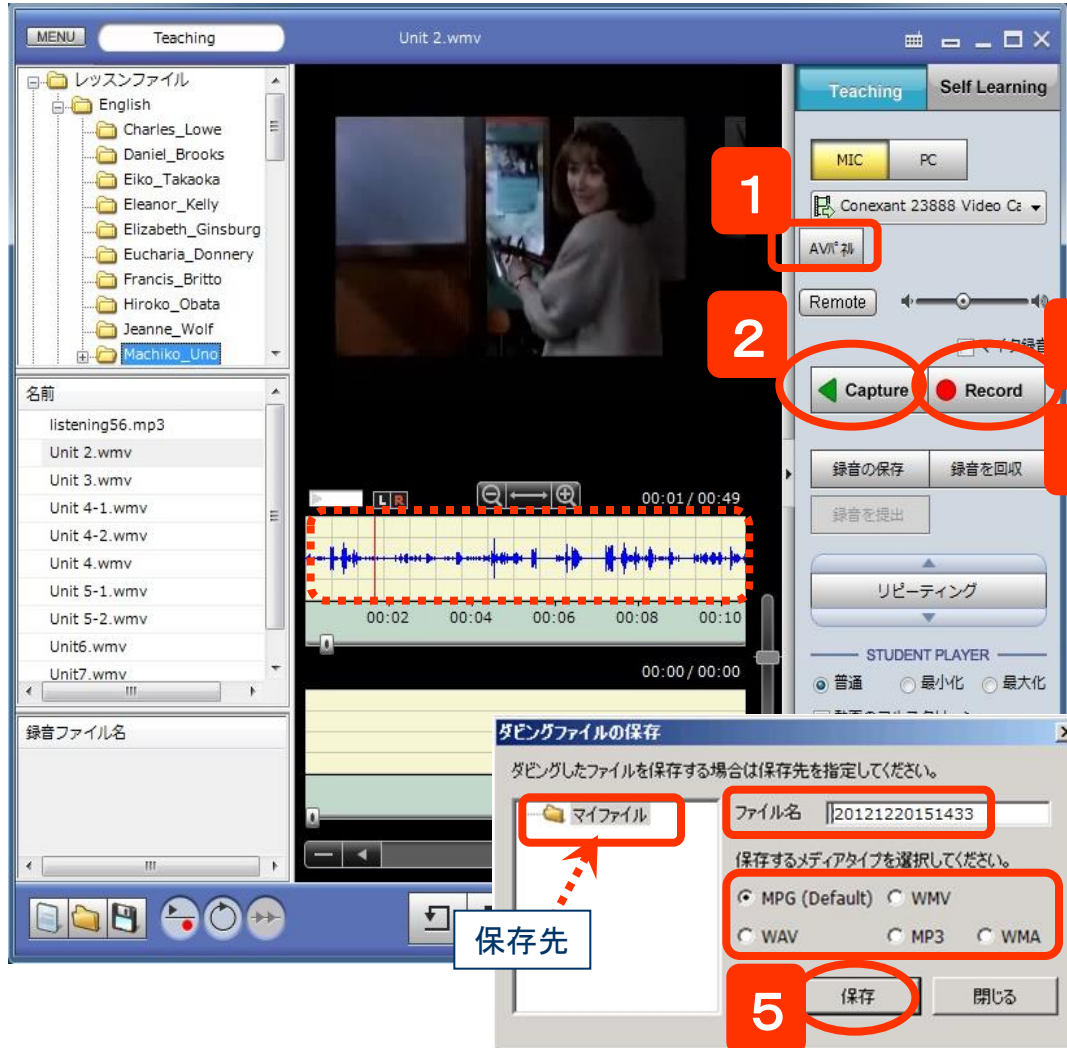
録音の保存 録音を回収

録音保存／回収
／提出

操作ボタン類

AV機器の映像・音声を取り込む

DVD／CDなどの映像や音声をその場で取り込んでファイル化します。



1. “AVパネル”を選択

2. [Capture]ボタンをクリック

⇒ 卓上AV操作パネルのCalaboで選択しているAV機器の映像がムービーテレコに表示され、音声がヘッドセットから聞こえます。

3. [Record]ボタンをクリック

⇒ 録画・録音を開始し、波形が表示されます。

4. [Record]ボタンを再度クリック

⇒ 録画・録音を停止し、「ダビングファイルの保存」ダイアログが表示されます。
※ AV機器は別途停止させます。

5. 保存先, ファイル名, ファイル形式を指定して[保存]ボタンをクリック

⇒ 取り込んだ教材が保存されます。
※ ファイル形式は一般的に下記を選びます。
・動画の場合＝WMV
・音声の場合＝MP3
※ 保存する必要がない場合、[保存]ではなく[閉じる]ボタンをクリックします。

動画ファイルや音声ファイルをムービーテレコに保存します。(学習者は操作できません。)



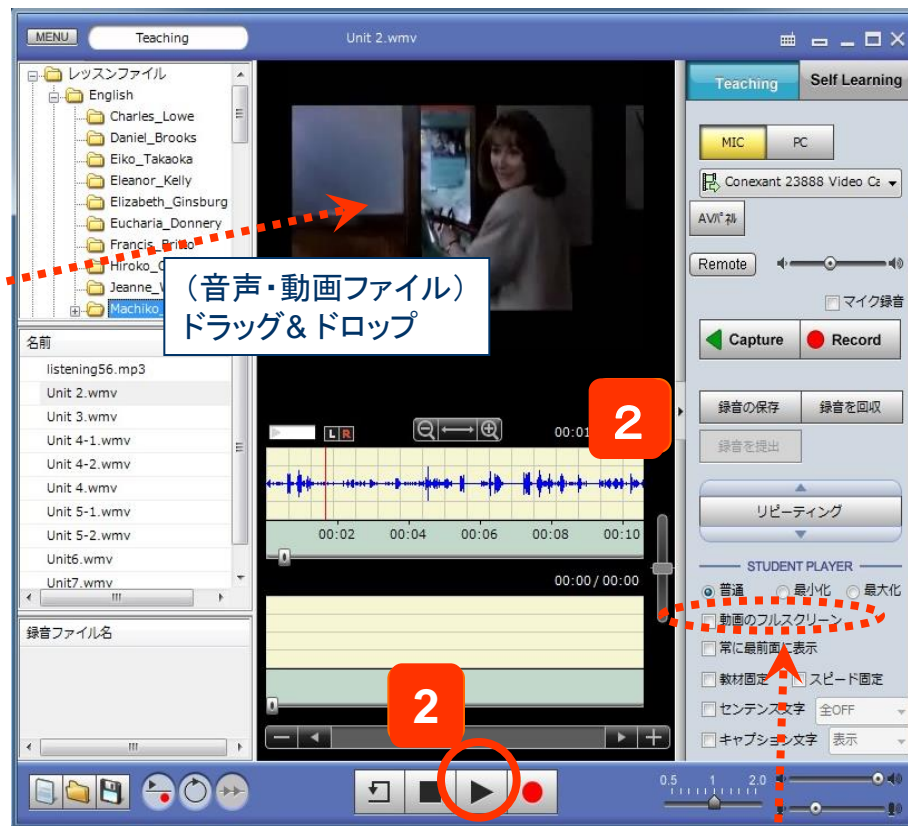
1. 「共通ファイル」または「レッスンファイル」の学部フォルダ下にある先生の名前のフォルダをクリック
⇒「教材リスト」には先生のフォルダにある教材ファイルの名前が表示されます。

2. 「教材リスト」にアップする教材ファイルをドラッグ&ドロップします。
⇒サーバに教材がアップされます。

■ 自習(授業外)では使わせない教材をアップする時は...
⇒「レッスンファイル」に保存します。

■ 自習(授業外)でも使わせる教材をアップする時は...
⇒「共通ファイル」に保存します。

動画ファイルや音声ファイルを学習者ムービーテレコに配信して見せます。(学習者は操作できません。)



(音声・動画ファイル)
ドラッグ&ドロップ

チェックを入れると学習者PCに
ビデオ映像を全画面で流します。
チェックを外すともどります。

1. 教材ファイルをムービーテレコに ドラッグ&ドロップ

※または教材フォルダを選択、教材リストで教材を
ダブルクリック

⇒ムービーテレコに教材ファイルが読み込まれ
動画や音声の波形が表示されます

<読み込み可能なファイル形式>
動画ファイル: MPEG1, WMV
音声ファイル: WAV, MP3, WMA

2. [再生ボタン]をクリック

⇒読み込まれた教材ファイルの動画や音声
先生と学習者に流れます。

【ムービーテレコのコントロール】

① ② ③ ④



①教材の2秒巻き戻し
⇒再生中にクリックすると教材を2秒戻す

②停止

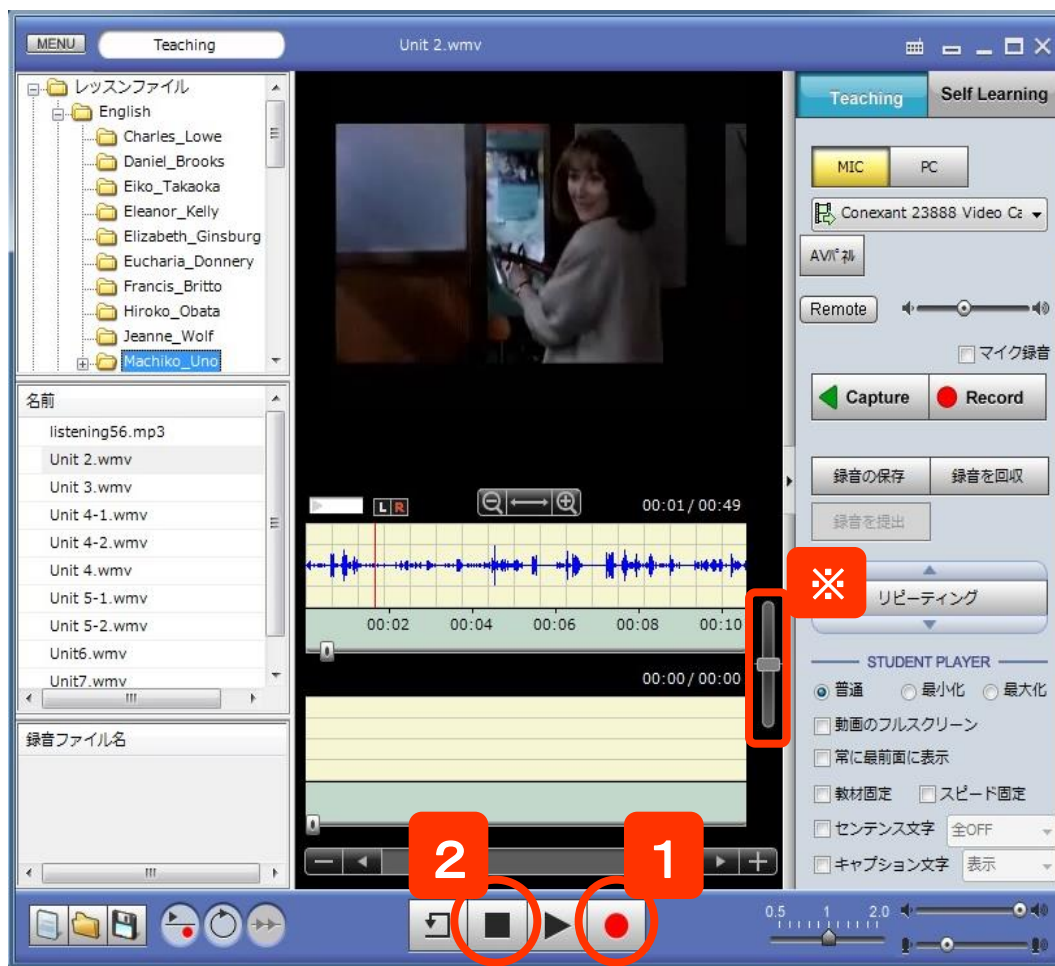
③再生

④録音

⇒教材を再生しながら学生の声を録音

Teachingモードでシャドーイング／同時通訳

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にシャドーイングや同時通訳練習させます。
学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)



1. 教材を開いた状態で[録音]をクリック

⇒ 教材を再生し、同時に学習者のマイク音声を録音します。

※ 教材は、次のいずれかで開きます。

- ・AV機器の映像・音声を取り込む
- ・教材フォルダを選択、教材リストで教材をダブルクリック
- ・USBメモリ等で持ってきた教材ファイルをムービーテレコにドラッグ&ドロップ

2. [停止]をクリックして終了

※[再生]をクリックして録音音声を聞かせることができます。

※ 学習者は、バランスつまみを上下に動かし、教材と録音音声の音量を調整することができます。(バランスつまみは、先生ムービーテレコと同じ位置にあります。)

ファイル化した教材を使い、先生のコントロールで学習者にリピーティングや逐次通訳練習させます。学習者の音声は自動で録音されます。(学習者は操作できず、先生から一括制御します。)

The screenshot shows the CHieru Teaching mode interface. On the left, there is a file tree with folders for 'English', 'French', 'German', 'Hispanic', 'Luso-Brazilian', 'Other', and 'CHieru'. Below the tree is a list of files including '1.mpg', 'f-long.mpg', 'f1.mpg', 'long.mpg', and 'sample.wmv'. The main area displays a video player with a video of a man and a woman. Below the video is an audio waveform with five numbered markers (1-5) placed at specific points. A context menu is open over the waveform, with '設定' (Settings) selected, and a sub-menu showing '音声設定' (Audio Settings) circled in red. At the bottom of the interface, there are playback controls including a play button, a stop button, and a repeat button (marked with a red circle and '4'). A settings dialog box is open on the right, titled '音声設定' (Audio Settings). It has several sections: '再生/録音の設定' (Playback/Recording Settings), 'ブックマーク/リピーティング設定' (Bookmark/Repetition Settings), and 'スピードコントロール設定' (Speed Control Settings). In the 'ブックマーク/リピーティング設定' section, the checkbox 'リピーティング時間を教材に合わせる' (Adjust repetition time to match the material) is checked and circled in red, with a red circle and '3' next to it. The '録音トラック長' (Recording track length) is set to 'x1.8'. At the bottom of the dialog, the '更新' (Update) button is circled in red. A red line connects the numbered markers on the waveform to the corresponding numbered steps in the list on the right.

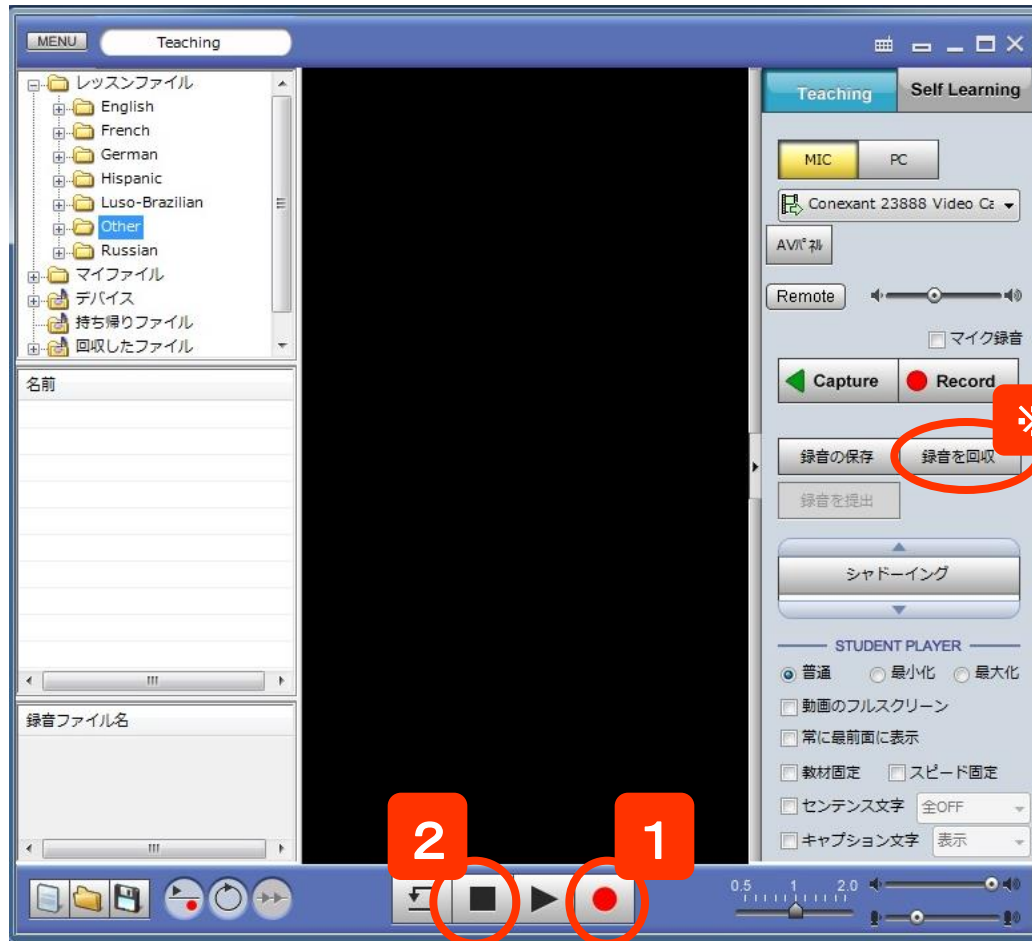
1. 任意の箇所をクリック、[+]をクリック
⇒ 波形にブックマークが作られます。
2. 画面内で右クリック、「設定」→「音声設定」を選択
⇒ 「音声設定」ダイアログが表示されます。
3. 「リピーティング時間を教材に合わせる」にチェック、録音の尺を選択、[更新]をクリック
4. [リピーティング]ボタンを押下、[再生]ボタンをクリック

⇒ ブックマーク位置まで再生、指定した尺で録音、次のブックマーク位置まで再生、指定した尺で録音...を繰り返します。

5. [停止]をクリックして終了

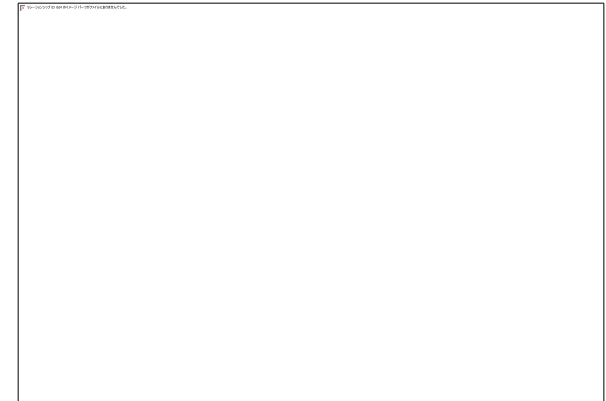
Teachingモードで読み上げ音声を録音

先生のコントロールで、学習者の読み上げ音声を一齐に録音します。
録音後に一括回収することもできます。



1. 教材を開かない状態で[録音]をクリック
⇒ 学習者のマイク音声録音を開始します。
2. [停止]をクリックして終了

※ [録音を回収]ボタンをクリックすると、学習者の録音音声を一括回収できます。



ムービーテレコ : Self-Learningモード

映像や音声の教材を使い、学習者の操作で個別に練習させる

先生が取り込んだ映像・音声や、自分で開いた教材を使って、学習者が各自操作して学習します。

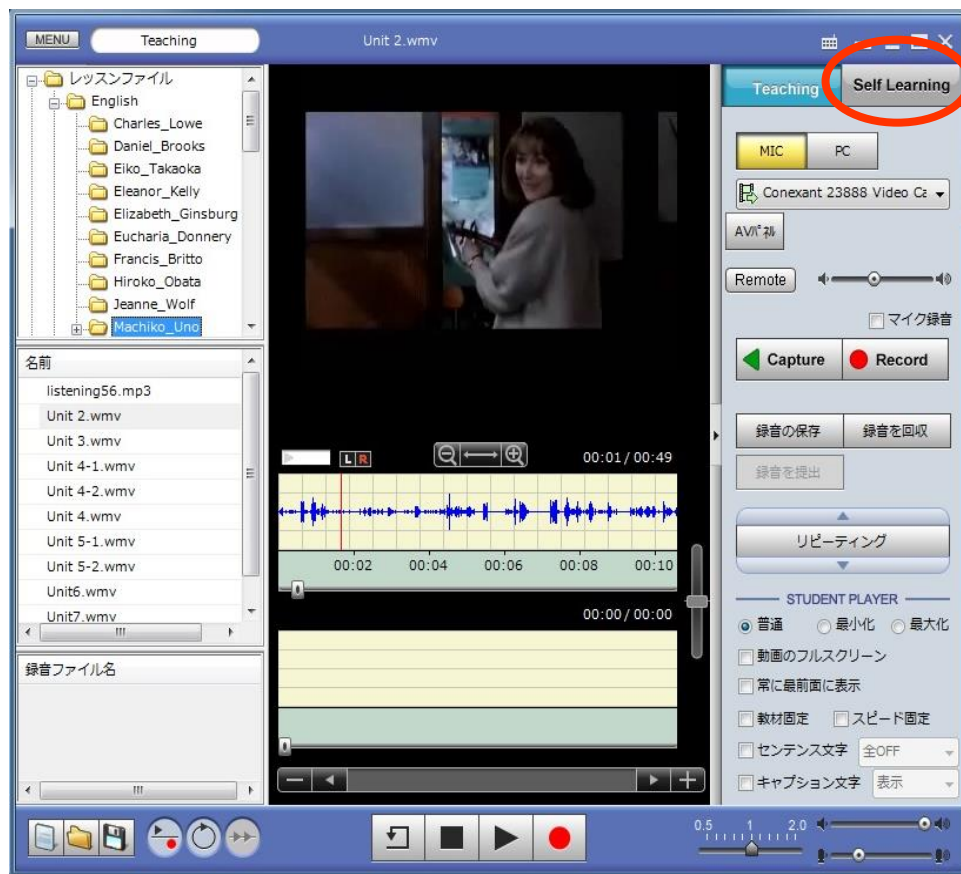
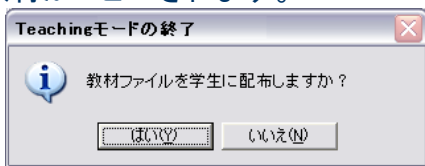
先生が取り込んだ教材を学習者に使わせるには・・・

AV機器からの映像・音声を録画・録音後、教材波形が表示されている状態で、[Self Learning]ボタンを押します。

→ 教材サーバが設定されている環境では、「レッスンファイルに登録しますか?」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
教材サーバに登録され、学習者PCではその教材が自動で開かれます。

※ ファイル名は自由に変更できますが、拡張子は変更しないでください。

→ 教材サーバが設定されていない環境では「教材ファイルを学生に配布しますか?」という確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックします。
学習者PCに教材がコピーされます。



教材サーバに登録した教材を使わせるには・・・

[Self Learning]ボタンを押します。

→ 学習者は指示された教材を「教材フォルダ」から開きます。

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(1) 一画面の説明)

学習者は各自が操作して教材を学習できます。

The screenshot shows the 'Self-Learning' window with a file tree on the left, a list of audio files in the middle, and a video player on the right. Red boxes and arrows highlight key features: the file tree, the audio file list, the '録音ファイル名' (Recording File Name) field, the '一時保存' (Temporary Save) button, and the '再生 & 録音' (Play & Record) button.

【教材フォルダ】
フォルダをダブルクリックすると「教材リスト」にフォルダ内の教材を表示します。

【教材リスト】
教材タイトルをダブルクリックすると、教材が開かれ、上段に波形が表示されます。

【テンポラリ録音リスト】
録音後に[一時保存]ボタンをクリックすると、一時的に保存できます。
ファイル名をダブルクリックすると、下段に波形が表示されます。

【一時保存】
録音後、音声を「テンポラリ録音リスト」に保存します。(一時的なもの)

【再生 & 録音】
教材音声を聞きながら、録音します。
下段に波形が表示されます。

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(2) — 教材を聞く・録音する)

学習者は各自が操作して教材を学習できます。

【再生開始位置の指定】

停止している状態で波形の中をクリックし、[再生]ボタンをクリックするとその位置から再生を始めます。

【部分再生】

停止している状態で波形の中をドラッグで範囲指定し、[再生]ボタンをクリックするとその部分だけ再生します。

【音量バランス調整つまみ】

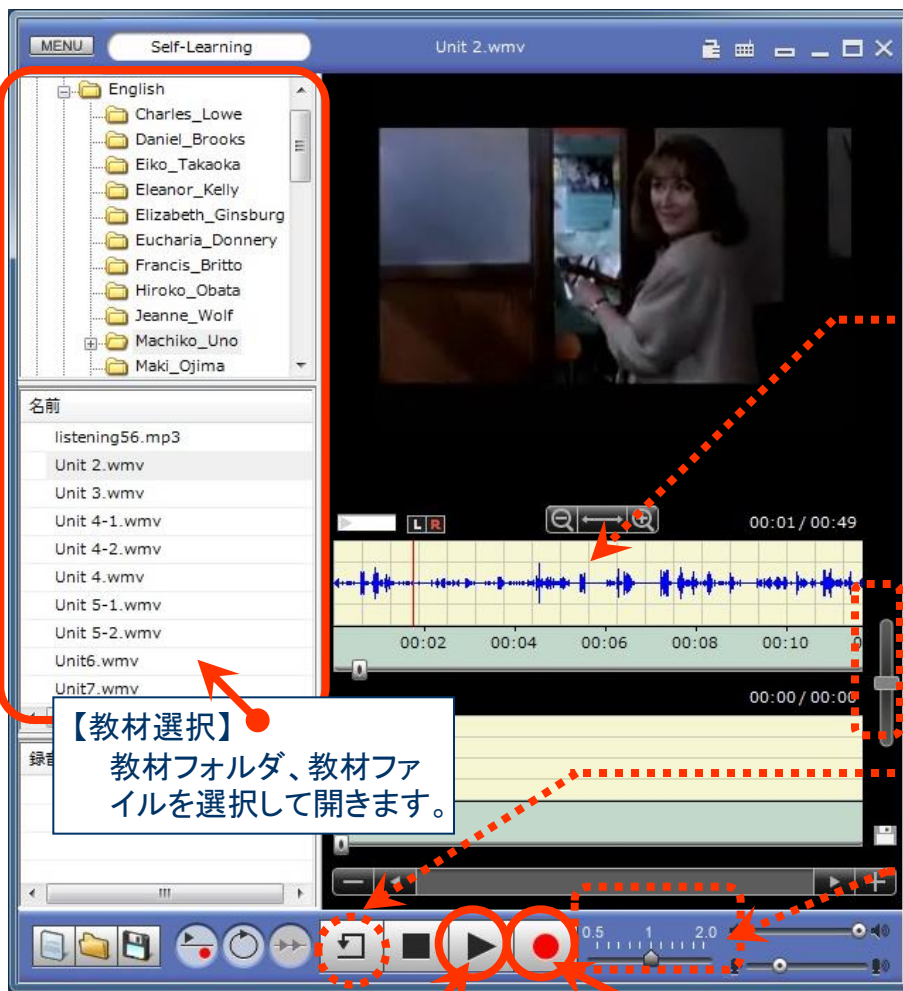
上に動かすと教材音声が大きくなります。
下に動かすと録音音声が大きくなります。

【巻き戻し】

再生中にクリックすると2秒もどって再生します。
※ 設定により、戻り時間が異なる場合があります。

【スピードコントロール】

教材音声の再生スピードを0.5～2.0倍速の間で調整して聞くことができます。



【教材選択】

教材フォルダ、教材ファイルを選択して開きます。

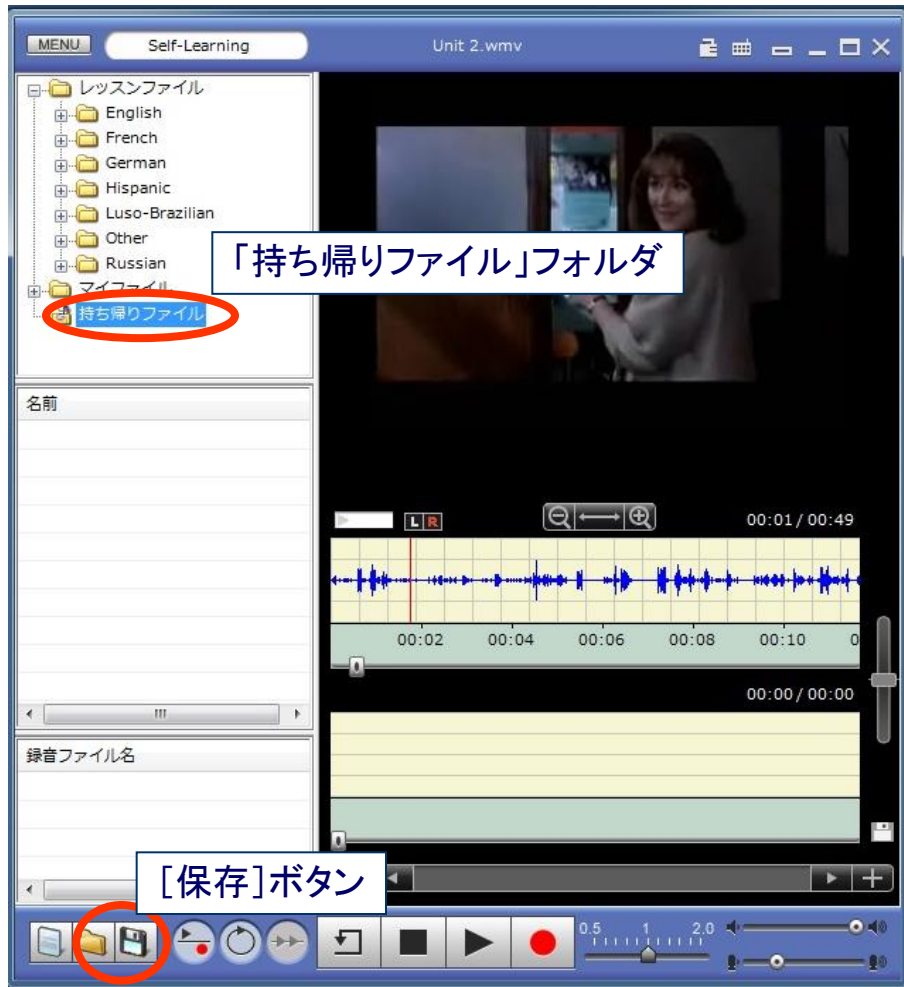
【再生 & 一時停止】

教材を再生します。(録音音声がなければ同時に再生します。)「スペース」キーでも操作可。

【再生 & 録音】

教材音声を聞きながら、録音します。
(シャドーイングや同時通訳など)

ムービーテレコの使い方 (学習者向け(3) —教材・録音した音声を保存する)



教材・録音した音声をファイルに保存します。

1

[保存]ボタンをクリックします。

⇒「名前をつけて保存」ダイアログが表示されます。

「ファイルの種類」を選択します。

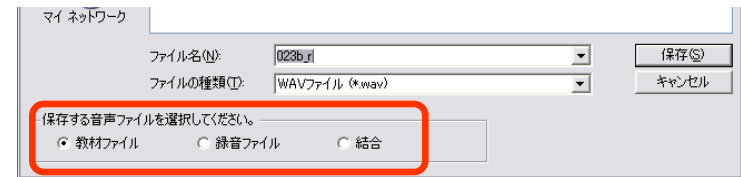
保存できるファイルの形式は5種類(wdb, wav, mp3, wma, wmv)です。

※wdbはムービーテレコ独自の形式、wav,mp3,wmaは音声ファイル形式、wmvは動画ファイル形式です。

2

音声ファイルの保存(「wav」「mp3」「wma」)を選択した場合「教材ファイル」「録音ファイル」「結合(教材音声と録音音声のミックス)」の3つから保存する音声を選びます。

3



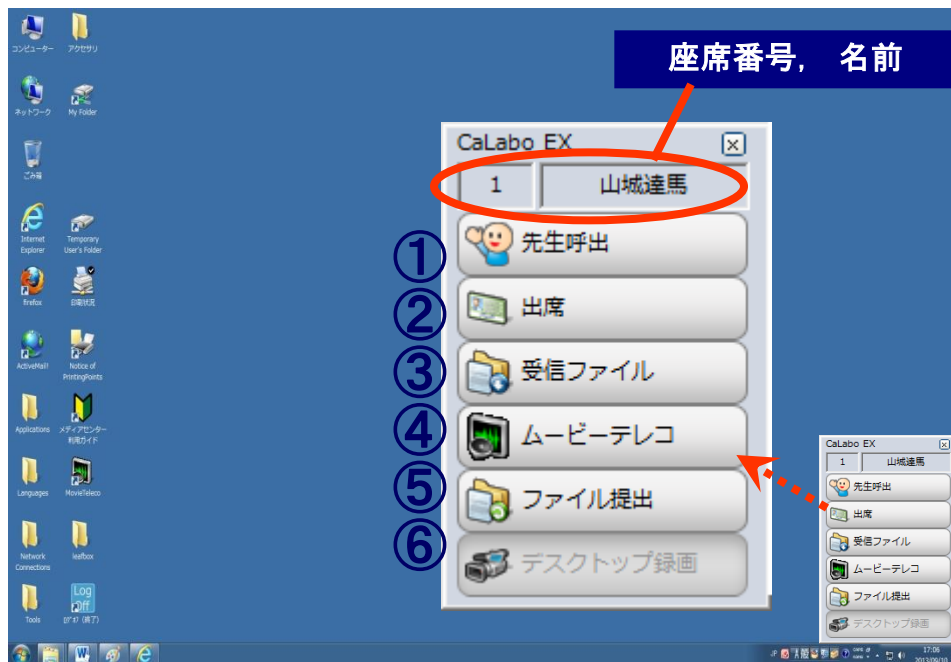
保存先のフォルダとファイル名を指定して保存します。

⇒指定先に保存されます。

4

※「持ち帰りフォルダ」に教材をドラッグ & ドロップすると、持ち帰り用ムービーテレコといっしょに保存されます。

学習者PCには「学習者メニュー」がインストールされています。



④ [ムービーテレコ]

ムービーテレコを起動します。

⑤ [ファイル提出]

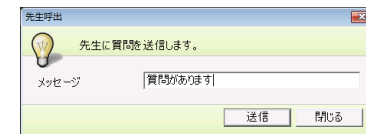
「ファイル提出」ダイアログを閉じてしまった場合、クリックして表示させることができます。(先生が提出許可中のみ有効)

⑥ [デスクトップ録画]

先生が「デスクトップ録画」したファイルを配信した場合、再生することができます。(先生は配信した場合のみ有効)

① [先生呼出] (または [Alt] + [F12] キー)

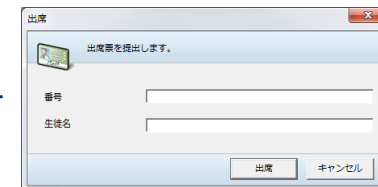
質問があるときなど、先生に知らせることができます。クリックすると「先生呼出」ダイアログが表示されるので、必要であればメッセージを入力し、先生に知らせます。メッセージは入力しなくてもかまいません。



※ [Alt] + [F12] キーを押した場合は、先生呼出ダイアログは表示せず、呼び出していることだけを先生に知らせます。

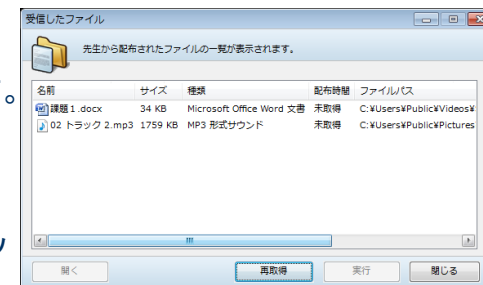
② [出席] (または [Alt] + [F10] キー)

「出席票」を表示します。座席アイコンに「入力した名前」を表示する設定の場合、名前を入力します。



③ [受信ファイル]

先生から配布されたファイルを確認できます。出席する前に先生がファイルを配布していた場合、自動で表示され、[再取得] ボタンをクリックすると取得することができます。

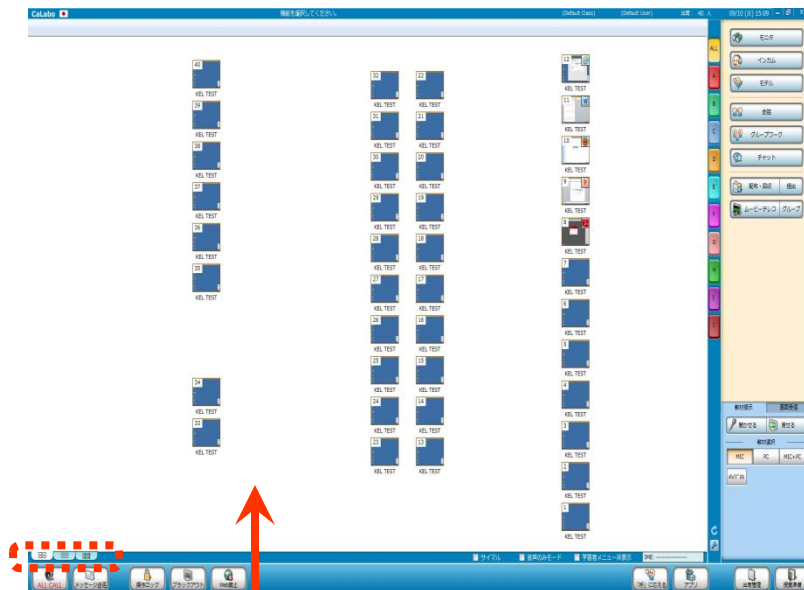


コントロール画面を起動すると、座席アイコンが表示され、学習者PCの画面が表示されます。(=アイコン表示)

この表示は「座席ビュー切り替えタブ」で「リスト表示」「サムネイル表示」に切り替えることができます。

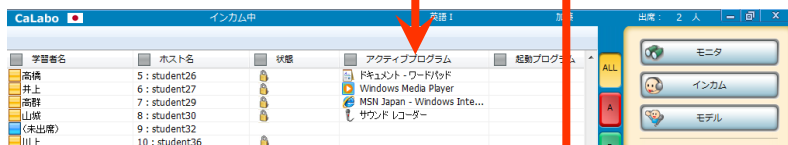
アイコン表示

座席レイアウトどおりにアイコンが並び、1つ1つの座席アイコンには学習者PC画面が表示されます。



リスト表示

学習者が起動しているアプリケーションを一覧で確認できます。



サムネイル表示

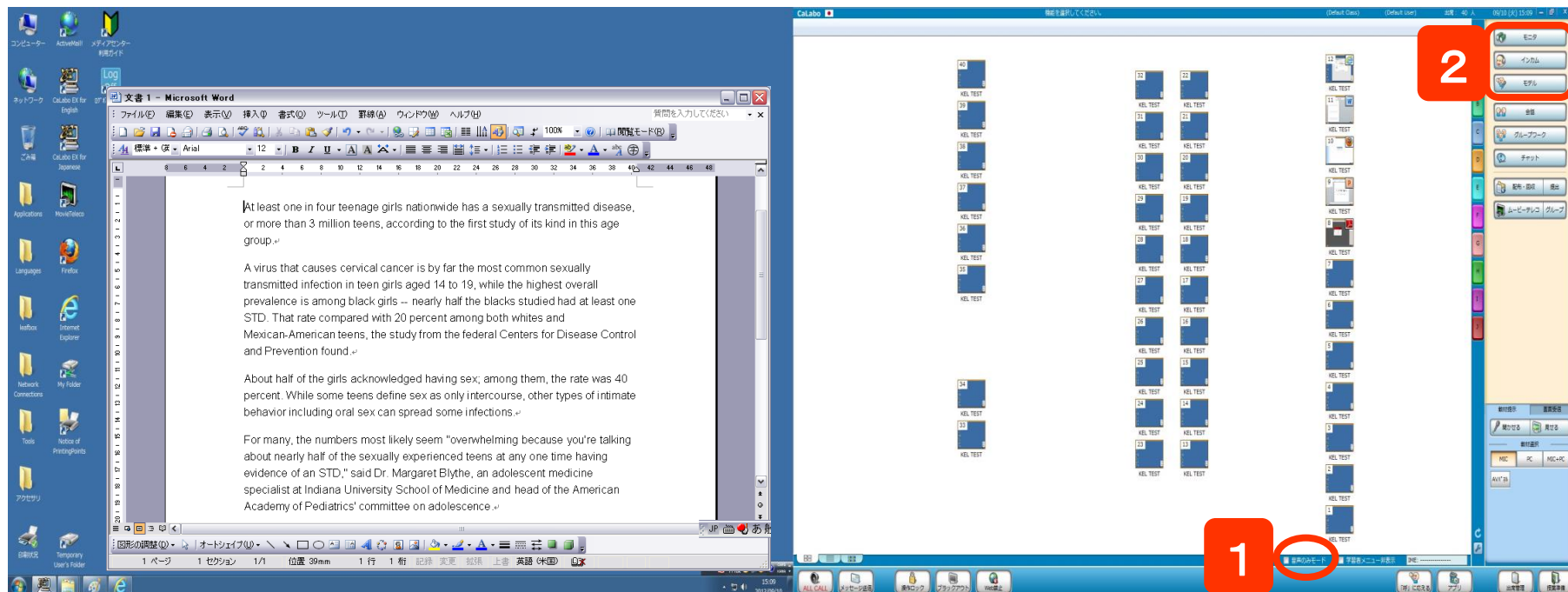
出席者全員のPC画面が一覧で表示されます。画面の並びは座席番号順になります。

サムネイル表示タブを再度クリックすると、メニューで画面の大きさを切り替えられます。



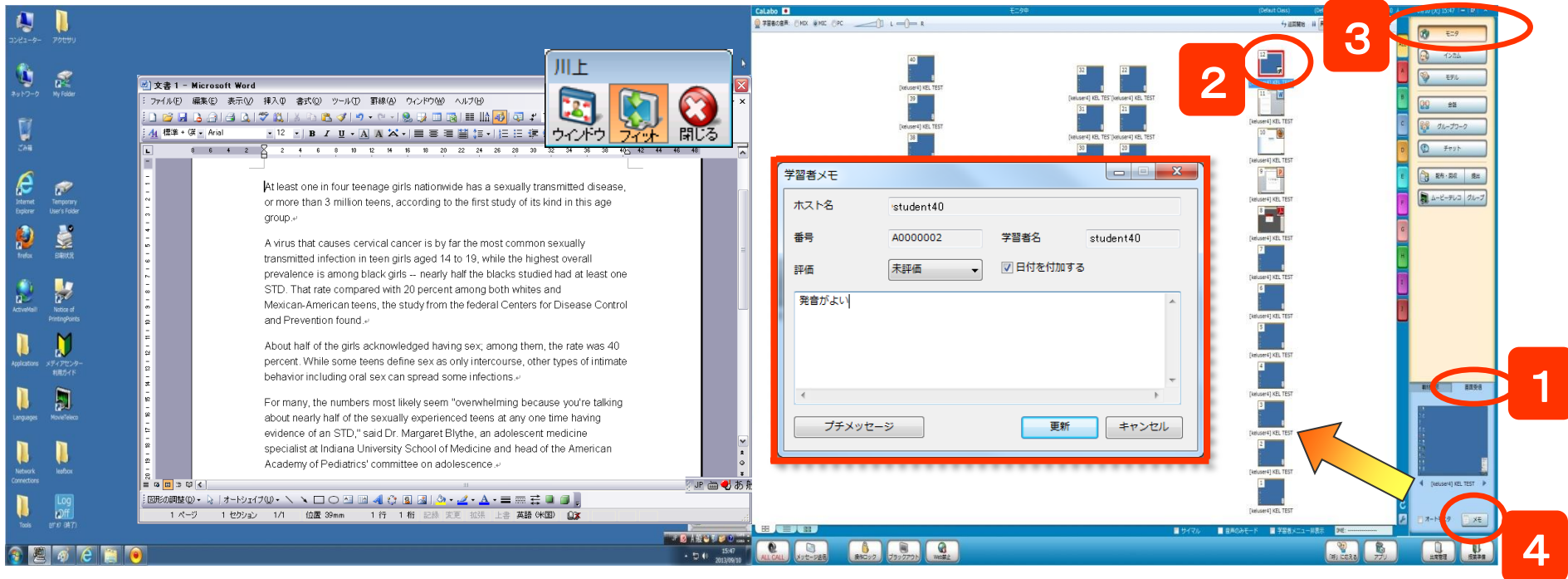
「音声のみ」(モニタ/インカム/モデル)

[モニタ] [インカム] [モデル] 機能は画面と音声と同時に扱いますが、これらの機能を実行する前に「音声のみモード」にチェックを入れておくと、音声だけの機能になります。



1. クラスエリアの下の「音声のみモード」にチェック
2. [モニタ] [インカム] [モデル] 機能を実行(各手順に従う)

※ 機能の途中で「音声のみ」「画面・音声同時」に切り替えることはできません。



1. 「画面受信」タブをクリック

→ 「教材提示」→「画面受信」パネルに切り替わります。

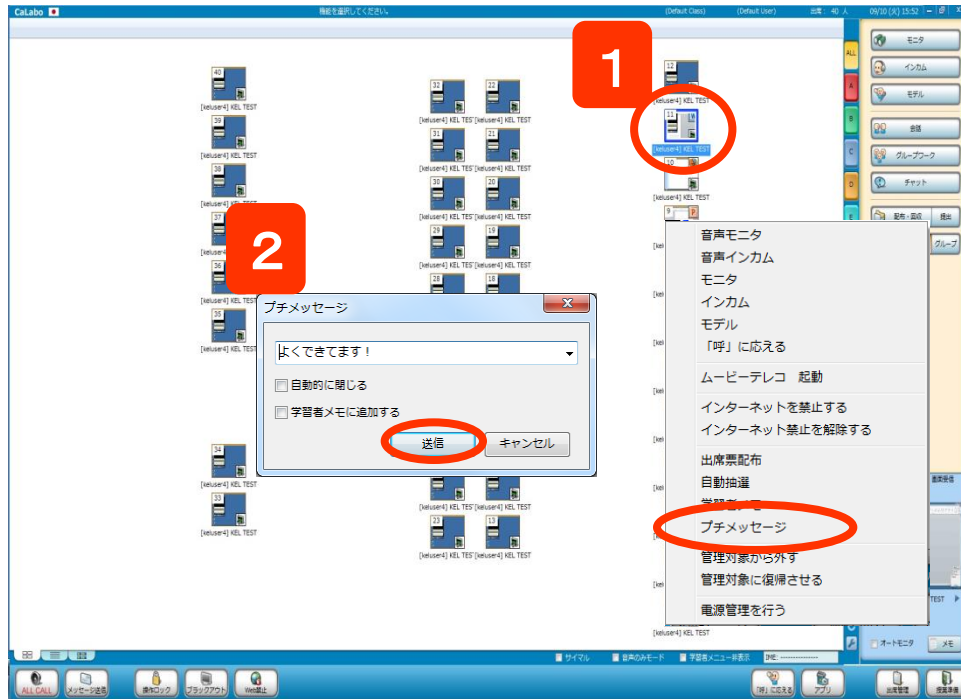
2. モニタしたい座席アイコンを選択(複数選択は不可)

3. [モニタ]ボタンをクリック

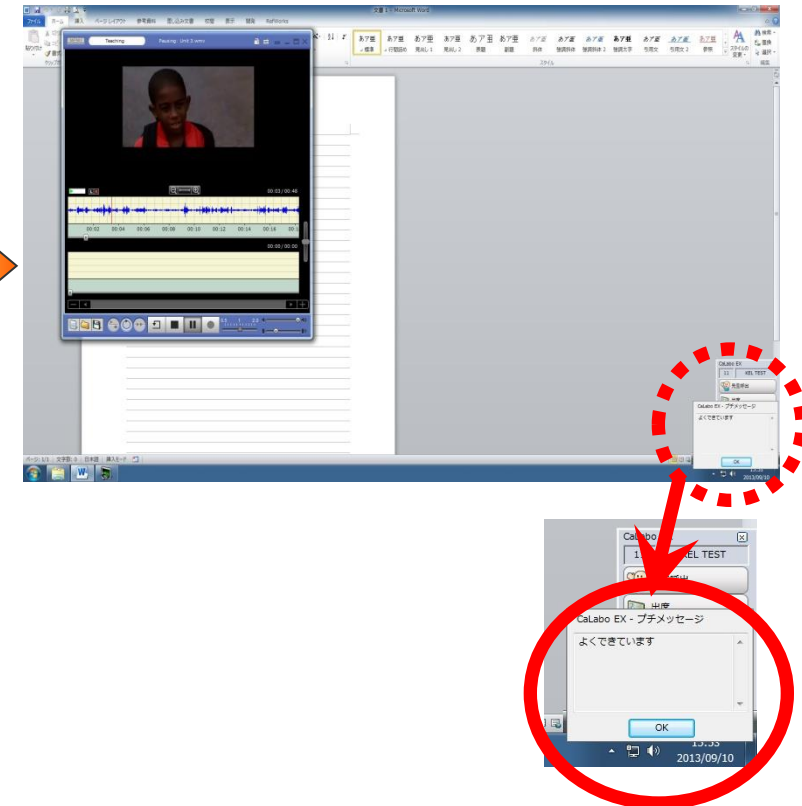
→ 左側の先生画面と画面受信パネルに選択した学習者の画面が表示されます。

4. [メモ]ボタンをクリック

→ 「学習者メモ」ダイアログが表示され、評価やコメントをつけることができます。
出席履歴データに出力されます。



【対象の学習者画面】



1. メッセージを送る座席で右クリックし、表示されるメニューから「プチメッセージ」を選択
⇒ プチメッセージ画面が表示されます。
2. メッセージ入力ボックスに文字を入力し、[送信]ボタンをクリック
⇒ メッセージを送った学習者の画面右下に送ったコメントが表示されます

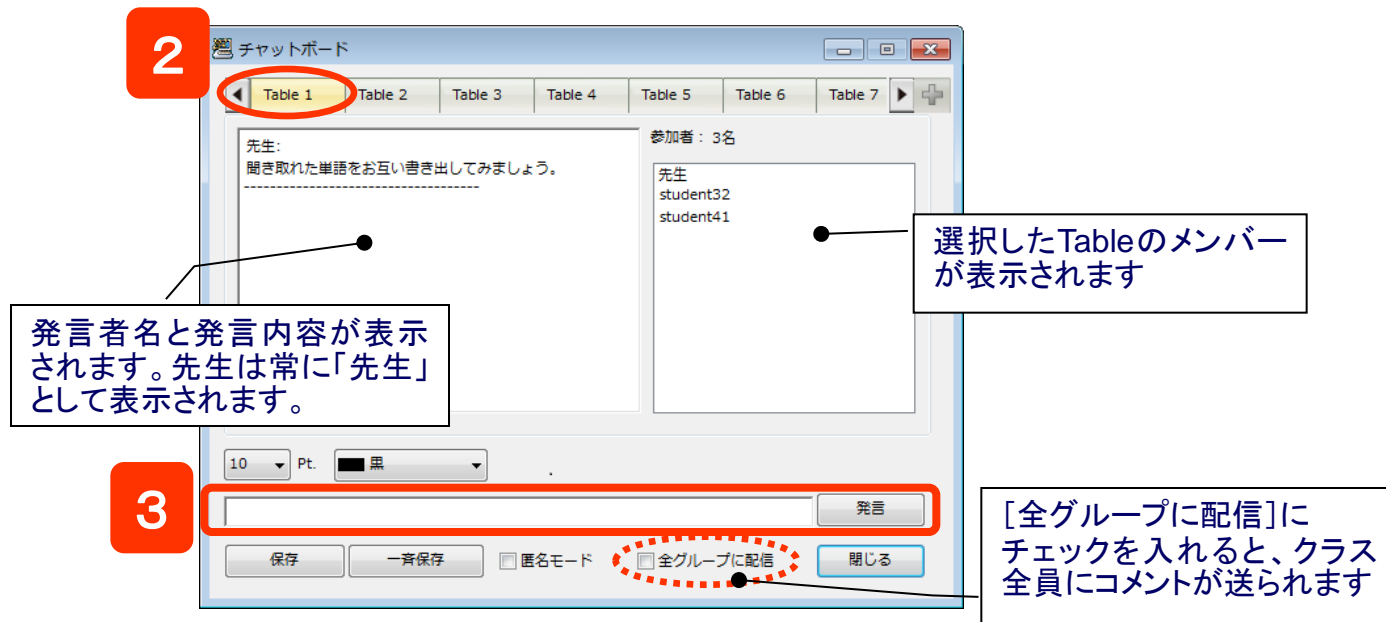
学習者の集中を妨げないように、画面右下にメッセージが表示されます

ペアやグループでチャットをさせる場合、あらかじめ[会話]や[グループワーク]で学習者を組んでおく必要があります。

※ペア・グループに分けずに実行すると、クラス全員でのチャットになります。



先生チャットボード



1. [チャット]ボタンをクリック

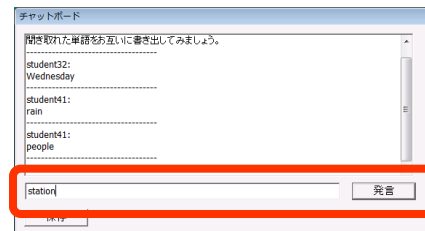
⇒ 先生画面と学習者画面にチャットボードが起動します。

2. 対象Tableをクリック

3. コメントを入力し[発言]ボタンをクリック

⇒ 選択しているTableの学習者にコメントが送られます。

学習者チャットボード

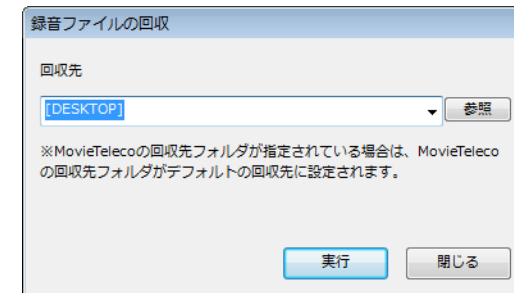
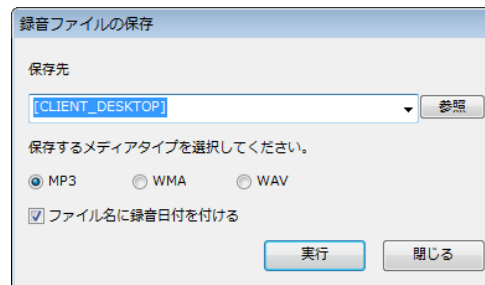


先生と同様に、コメントを入力して発言ボタンをクリック
⇒チャットボードに書き込まれます



会話録音・回収

: 先生の操作で学習者間の会話を録音、ファイルとして保存できます。また、保存後、先生側に一括で回収することもできます。

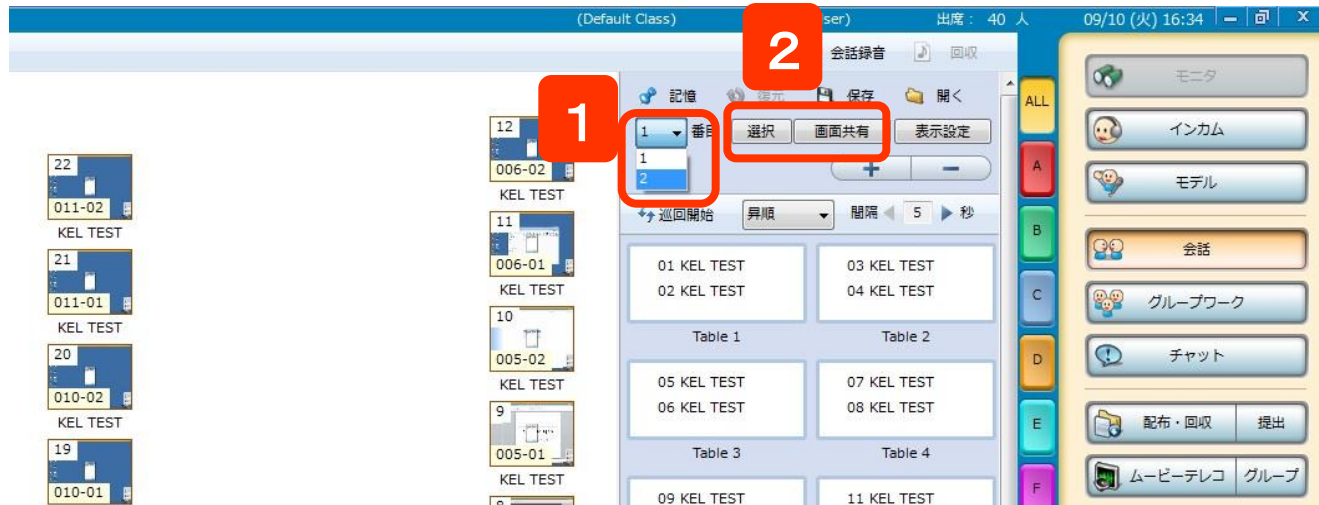


記憶・復元

: 会話相手を組み替えた場合など、その組み合わせをいったん保存し、他の活動をさせた後、再度その組み合わせで会話させることができます。(授業内)

保存・開く

: 次回の授業で同じ組み合わせで会話させたい場合など、組み合わせを保存し、次の授業で組み合わせることができる。(授業をまたいで可)



選択

: ペア的一方だけを選択してファイルを配布したい場合などに、各Tableから1名だけ選択状態にすることができます

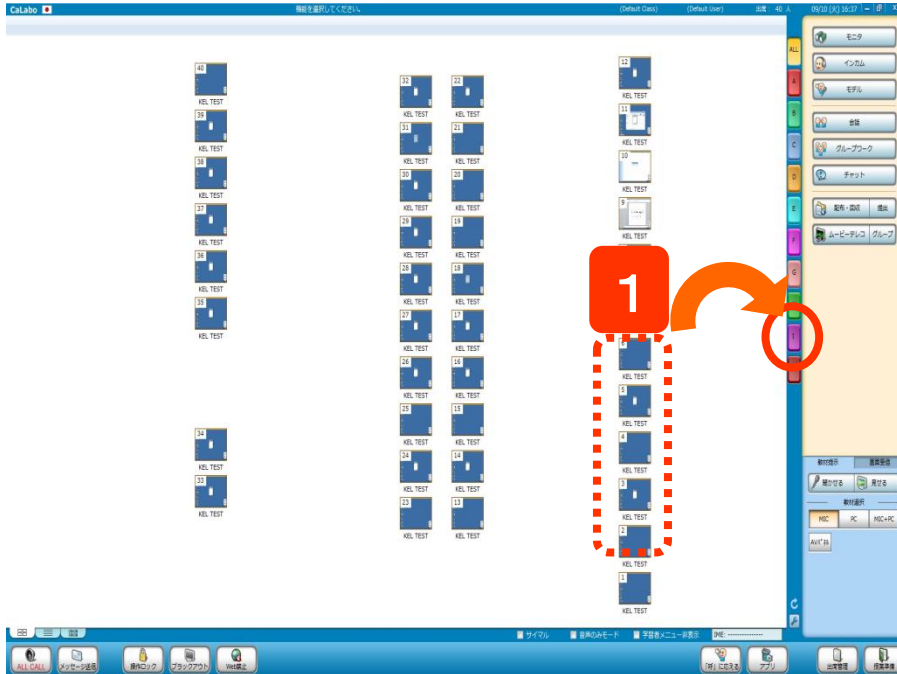
画面共有

: 会話中、Table内の1名の学習者パソコンの画面を他のメンバーと共有することができます

1. プルダウンメニューをクリックし、数字(上からn番目)を指定
2. [選択]をクリック ⇒ 指定した学生(上からn番目)だけが選択されます。
※ペアの一方だけを選択してファイルを配布したい場合などに使用します。
[画面共有]をクリック⇒ 指定した学生(上からn番目)の画面をTable内のメンバーで共有できます。

グループワーク(1)グループの作成

学習者をグループに分け、グループ分けに名前をつけて保存しておくことができます。
グループワークやホワイトボードを開始する前に、あらかじめグループを作っておく必要があります。



1. 座席アイコンをドラッグしてグループボタン上でドロップ

⇒ 座席アイコンの上部がグループの色に変わります。
※ 同様の手順で学習者をグループに分けます。

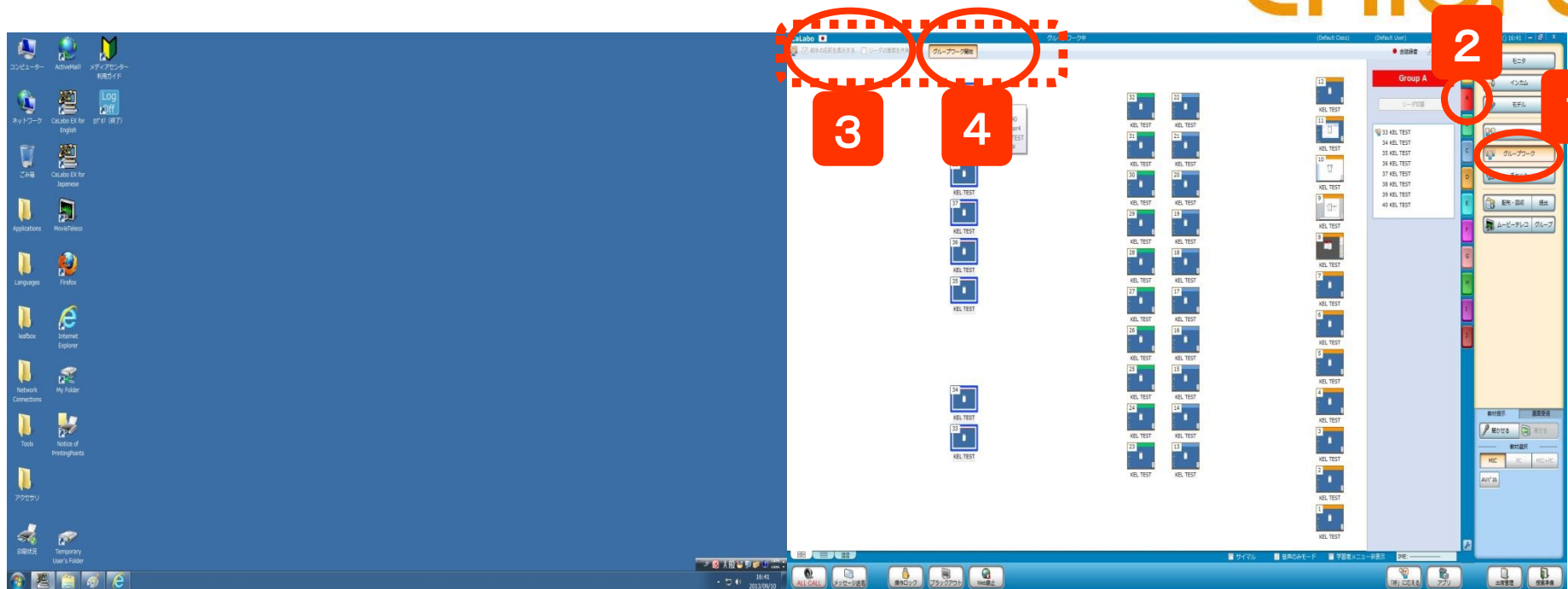
2. [設定]ボタンをクリックし、メニューで「現在の状態を保存する」をクリック

※いったんグループに入れた学習者を別のグループに入れるには、別のグループにドロップし直します。

※ 座席アイコンを「ALL」にドロップすると、どのグループからも外れます。



グループワーク(2)グループワーク



1. [グループワーク] ボタンをクリック

⇒ クラスエリアにグループエリアが表示されます。

2. グループボタンをクリック

⇒ グループのメンバーが表示され、座席番号が一番小さい学習者の先頭に[L]マークが表示されます。画面を共有させる場合、[L]マークの学習者画面を共有します。変更したい場合は、画面共有者をクリックし、[リーダー切替] ボタンをクリックします。

3. (画面共有させる場合)、サブメニューの「リーダーの画面を共有する」にチェック

4. [グループワーク開始] ボタンをクリック

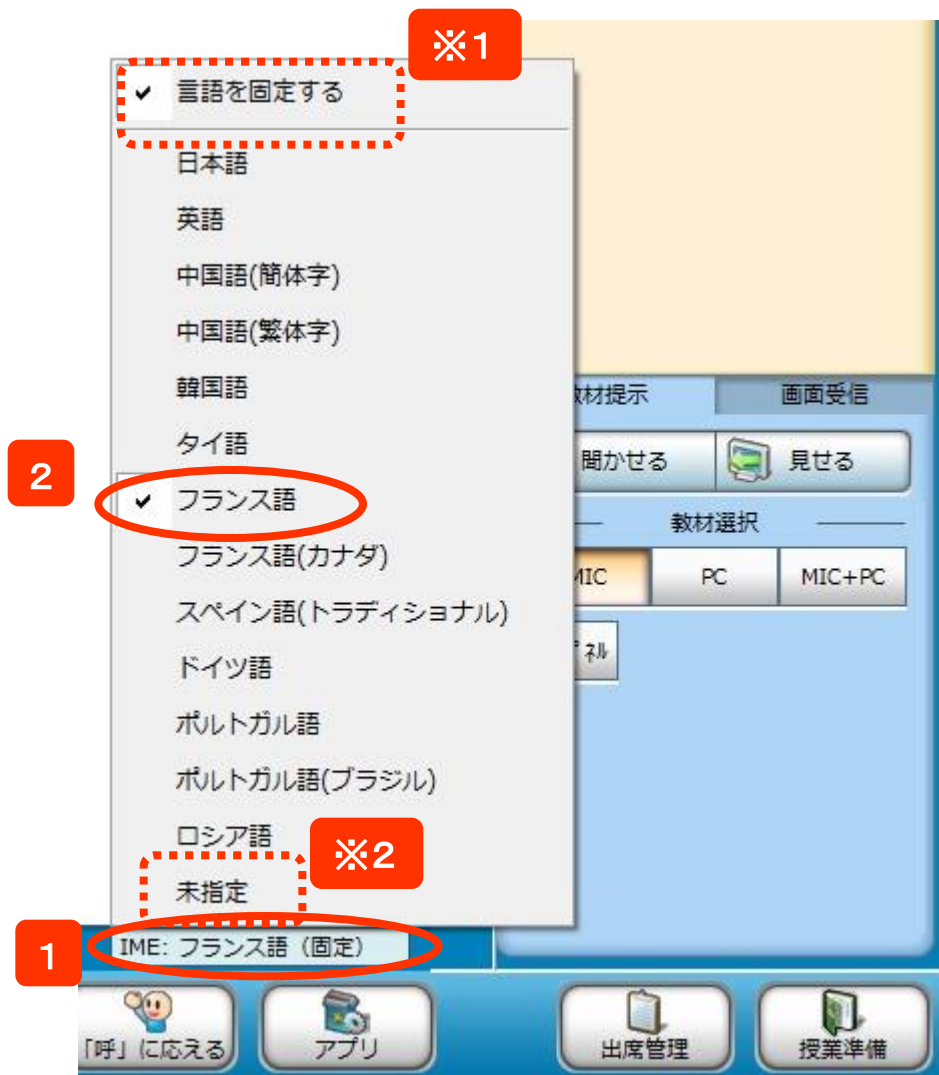
⇒ 各グループでリーダーの画面を共有し、会話ができる状態になります。

学習者画面

リーダー以外の学習者画面には下のボタンが表示され、クリックしてONにすると、リーダーの画面を操作できる状態になります。



学生の入力言語を切り替える



1. [IME切替]ボタンをクリック

⇒各種言語が表示されます

2. 入力言語をクリックで選択

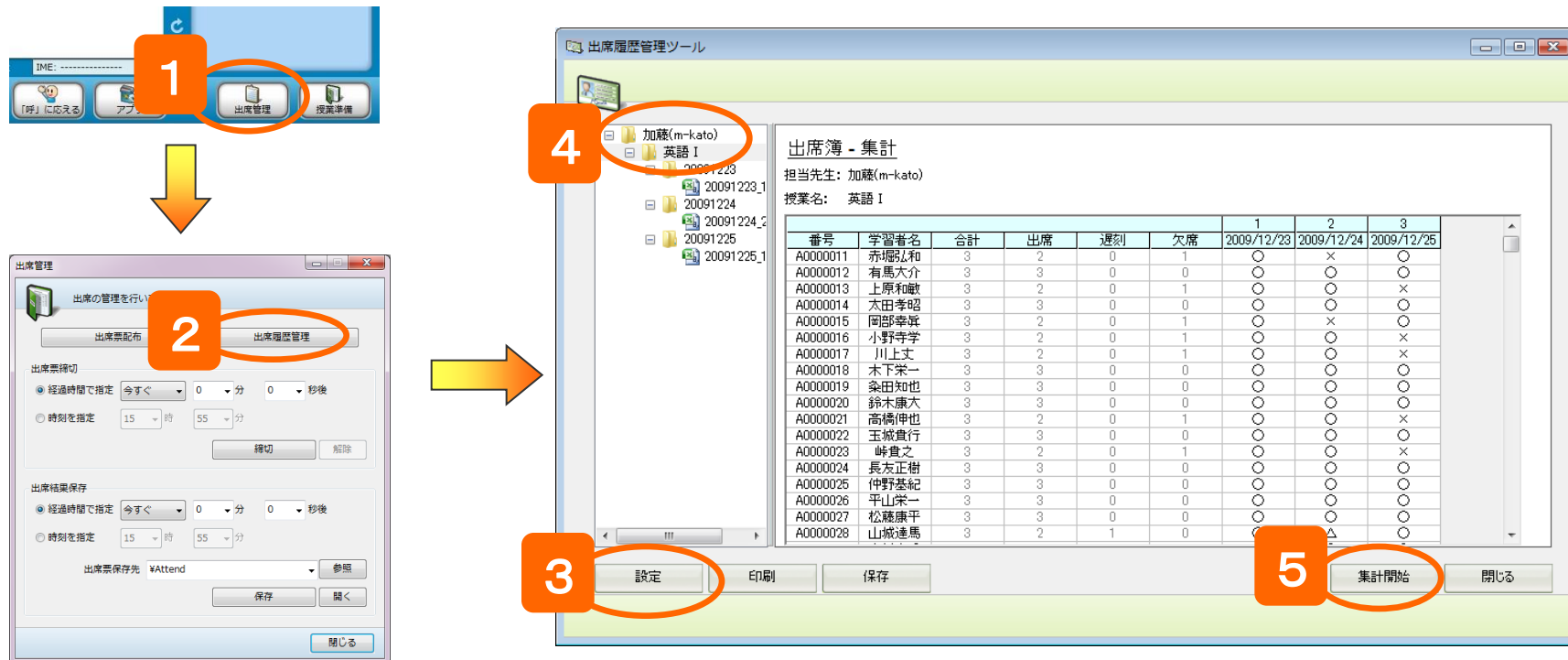
⇒学生側の入力言語が指定した言語に切り替わります

※1「言語を固定する」にチェックを入れると、学習者は先生が指定した言語以外に切り替えられなくなります。

※2「未指定」を選択すると、学習者は通常どおり、入力モードを任意に切り替えることができます。



ボタン名称	機能の概要
プログラム起動	指定したプログラムを一斉に起動します
IE一斉コントロール	指定したWebサイトを一斉に起動します
ホワイトボード	グループでホワイトボードを共有し、皆で描き込めます
Webサイト禁止・許可	Webサイトへのアクセスを制限します
プログラム禁止・許可	プログラムの起動を制限します
デスクトップ録画	先生画面の操作手順を録画し、学習者に渡せます
タイマー制御	指定した時間経過後、メッセージ送信や画面ロック／解除します
アナライザー	アナライザーを実施し、その場で結果を表示します
小テスト	テスト用紙形式の小テストを作成し、一斉に実施、その場で結果を把握できます



1. コントロール画面の[出席管理]ボタンをクリック ⇒ 「出席管理」ダイアログが表示されます。
2. [出席履歴管理]ボタンをクリック ⇒ 出席履歴管理ツールが起動されます。
3. [設定]ボタンをクリックし、出席履歴ファイルが保存されているパスを指定
4. 対象となるクラスを選択
5. [集計開始]ボタンをクリック ⇒ 出席簿が表示されます。

各機能で回収・出力・保存したファイルの出力先

CaLabo EXで回収・出力したファイルの保存先は、初期状態では以下のようになっております。
※保存時に任意で変更することも可能です。

配布	: デスクトップ
回収	: デスクトップ¥leafbox
提出	: デスクトップ¥leafbox
会話	: 回収(先生): デスクトップ¥leafbox / 保存(学生): デスクトップ
デスクトップ録画	: ライブラリ¥ドキュメント
アナライザ	: ライブラリ¥ドキュメント
小テスト	: デスクトップ¥leafbox

回収・提出時には、ファイル名の頭に学籍番号+学習者名を加えて保存します。